

ETERNA TRADING

NO. 1429

【2026 年 10 月 4 週】

今号掲載商品の御注文受け付け開始日時：

10/22（木）12：00～

【掲載レコードは盤面洗浄&ジャケットの補修済】

※ 商品コードが「REG」および「BOX」で始まるレコードは未洗浄となります。

オンラインでご覧の場合、商品コードやジャケット写真をクリックする事で
ショッピングサイトの商品詳細ページに移動する事が出来ます。
プレス年や録音場所など、詳しいレコード情報の確認にご活用ください。

－ 今週号のトピックス －

今週は VSM、DECCA、PHILIPS など大手レーベルの優秀録音が終結。

稀代のリリック・ソプラノが残した、深みある名録音...J. ミシヨー / オペラ歌曲集
企画盤と侮るなかれ聴き応えある充実の内容...「ベルギーのヴァイオリン楽派 Vol.1 & 2」
希少な仏プレスはオリジナルを遥かに超える音質...J. デュプレ / ドヴォルザーク :Vc 協奏曲
凄まじいメンバーが集った伝説的録音...J. ユボー / シューベルト :弦楽五重奏曲「鱒」
高音質レーベルが生み出した印象的なレコード...A. ブルプロワ指揮 / モーツァルト作品集

エテルナトレーディング有限公司

〒101-0064 千代田区神田猿樂町 1-5-4 猿樂堂ビル 1 階

TEL 03-5577-4054 / FAX 03-5577-4078

営業時間 11：00～19：00 日曜定休

〈ウェブサイト〉 eterna-trading.jp 〈メール〉 info@eterna-trading.jp



A. ヘクシュ (pf) × B. パウムガルトナー (指揮)
「モーツァルト :Pf 協奏曲 22 番&変奏曲 K. 460」
作曲家本人と同仕様のピアノを作らせ、
ルノーに乗せて欧州を駆け抜けた才媛。
PHILIPS の技術資料でもフォーカスされた、
200 年の時を超えたモーツァルト！

(1429-013)

盤質評価の見方

良 ← 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 → 不良

※ 盤の評価はキズや凹凸の有無が対象となり、経年変化は対象外。
評価が 6 以下の場合、鑑賞に影響するキズ等があります。

ジャケット評価の見方

良 ← S A B C → 不良

例外：[未]＝未開封、[白]＝汎用の白ジャケット
[コピー]＝元ジャケットのコピー&汎用白ジャケット

商品コード	レーベル	レコード番号	商品名	販売価格 (税込)	M/S	評価
1429-001	His Master's Voice	BLP 1028	G.デ・ヴィート(vn)A.バルドヴィーノ(vc)R.シュワルツ指揮フィルハーモニアo. / ブラームス:Vn・Vc二重協奏曲Op.102	¥16,500	M	A7
1429-002	COLUMBIA	FP 1147	ダミア(voc) / ミュージック・ホールの黄金時代Vol.17	¥3,300	M	A7
1429-003	VÉGA	C35S 194	P.バドゥラ・スコダ(pf) / ブラームス:Pfソナタ3番Op.5	¥3,300	M	A7
1429-004	PHILIPS	S 06678 R	Z.フランチェスカッティ(vn)E.オーマンディ指揮フィラデルフィアo. / ブラームス:Vn協奏曲Op.77	¥2,200	M	A7
1429-005	PHILIPS	S 06123 R	T.マジャール(vn)W.ヒールケマ(pf) / Vn作品集Vol.2/ グノー:アヴェ・マリア, クライスラー:愛の喜び, 愛の悲しみ, ウィーン奇想曲, マスネ:タイスの瞑想曲 他	¥2,200	M	A7
1429-006	PHILIPS	A 01606 R	ブダベストQt./J.ロイスマン, A.シュナーダー, B.クロイト, M.シュナーダー / ラヴェル:弦楽四重奏曲 ヘ長調	¥3,300	M	A7
1429-007	MUZA	SX 0483	K.A.クルカ(vn) / バッハ:無伴奏Vnソナタ1番BWV.1001, パルティータ3番BWV.1006	¥9,900	S	A8/7
1429-008	ETERNA	820 693	H.ピシュナー, I.アールグリム(cemb)K.レーデル指揮ドレスデンsk. / バッハ:2Cemb協奏曲1～3番BWV.1060～1062	¥3,300	M	A7
1429-008b	ETERNA	820 693	H.ピシュナー, I.アールグリム(cemb)K.レーデル指揮ドレスデンsk. / バッハ:2Cemb協奏曲1～3番BWV.1060～1062	¥3,300	M	A7
1429-009	MELODIYA	C10 07925	Y.クラマロフ(va)A.ウゴルスキー(pf) / バッハ:VaソナタBWV.1027～1029(原曲:Gambソナタ)	¥7,700	S	A8/7
1429-010	TRIANON	TRX 6133	L.コーガン(vn)O.アッカーマン指揮フィルハーモニア室内o., E.ギレリス(vn/B.1043) / バッハ:Vn協奏曲2番BWV.1042, 2Vn協奏曲BWV.1043, 無伴奏Vnソナタ2番BWV.1003～サラバンド	¥4,400	M	A7
1429-010b	TRIANON	TRX 6133	L.コーガン(vn)O.アッカーマン指揮フィルハーモニア室内o., E.ギレリス(vn/B.1043) / バッハ:Vn協奏曲2番BWV.1042, 2Vn協奏曲BWV.1043, 無伴奏Vnソナタ2番BWV.1003～サラバンド	¥4,400	M	A7
1429-011	PHILIPS	6833 166	T.d.マクラ(vc) / バッハ:無伴奏Vc組曲5番BWV.1011, 無伴奏Vc組曲6番BWV.1012	¥6,600	S	A7/6
1429-012	ERATO	STU 70347	E.ピヒト・アクセンフェルト(cemb) / バッハ:ゴルトベルク変奏曲BWV.988	¥7,700	S(GU)	A8/7
1429-013	PHILIPS	A 00244 L	A.ヘクシュ(pf)B.パウムガルトナー指揮ウィーンso. / モーツァルト:Pf協奏曲K.482, 8つの変奏曲 K.460	¥22,000	M	A7
1429-014	CONCERTEUM	CVX 358	J.ティボー(vn)P.パレー指揮ラムルーo. / ショーソン:詩曲Op.25, モーツァルト:Vn協奏曲3番K.216	¥16,500	M	A7
1429-015	ANGELICUM	945 962	F.グツリ(vn)指揮アンジェリクムo. / モーツァルト:Vn協奏曲3番K.216, Vn協奏曲4番K.218	¥4,400	S	A7
1429-016	ETERNA	820 683	E.ケート(s)G.ヴァイセンボルン(pf) / モーツァルト:歌曲集(20曲)/K.476, 518, 147, 520, 531, 596, 579, 597他	¥3,850	M	A8/7
1429-017	CALLIOPE	CAL 1600 01	A.ブルフロワ指揮チェコスロバキア室内o.プラハ / モーツァルト:アイネ・クライネ・ナハトムジークK.525, レナータ・ノットウルナK.239, 弦楽ディヴェルティメントK.136～138, アダージョとフーガK.546	¥9,900	S(GU)	A8/7

1429-018	La Voix De Son Maître	2701271	B.ヘンドリックス(s)J.テイト指揮イギリス室内o. / モーツァルト:コンサート・アリア集/ルチオ・シラ, イドメネオ, フィガロの結婚 アリアK.369, K.490, K.272	¥2,750	DS	S8
1429-019	La Voix De Son Maître	2C 069-03597	K.A.クルカ(vn)J.マクシミウク指揮ポーランド国立放送so. / シマノフスキ:Vn協奏曲1番Op.35, Vn協奏曲2番Op.61	¥6,600	S	S8/7
1429-020	La Voix De Son Maître	2C 069-02895	Y.メニューイン(vn)指揮メニューイン祝祭o. / ヴィオッティ:Vn協奏曲16番ホ短調, Vn協奏曲22番イ短調	¥3,300	S	A8/7
1429-021	La Voix De Son Maître	2C 069-02266	Y.メニューイン(vn)R.フリューベック・デ・ブルゴス指揮ロンドンso. / メンデルスゾーン:Vn協奏曲Op.64, Vn協奏曲ニ短調 (2番)	¥3,300	S	A8/7
1429-022	La Voix De Son Maître	2C 069-43089	V.スピヴァコフ(vn)小澤征爾指揮フィルハーモニアo. / チャイコフスキー:vn協奏曲Op.35, イタリア奇想曲Op.45	¥4,400	DS	S8/7
1429-023	La Voix De Son Maître	2701761	A.S.ムター(vn)小澤征爾指揮フランス国立o. / ラロ:スペイン交響曲Op.21, サラサーテ:ツイゴイネルワイゼンOp.20	¥6,600	DS	S8
1429-024	La Voix De Son Maître	2C 069-73129	A.デュメイ(vn)矢崎彦太郎指揮モンテカルロpo. / サン・サーンス:Vn協奏曲3番Op.61, ハバネラOp.83, 序奏とロンド・カプリッチョーソOp.28	¥6,600	DS	S8
1429-024b	La Voix De Son Maître	2C 069-73129	A.デュメイ(vn)矢崎彦太郎指揮モンテカルロpo. / サン・サーンス:Vn協奏曲3番Op.61, ハバネラOp.83, 序奏とロンド・カプリッチョーソOp.28	¥6,600	DS	S8
1429-025	La Voix De Son Maître	2703811	J.P.コラール(pf)A.デュメイ(vn), ミュアQt. / ショーソン:Vn・Pfと弦楽四重奏のための協奏曲Op.21, 弦楽四重奏曲Op.35「未完成」(3楽章未完版)	¥8,800	DS	S8
1429-025b	La Voix De Son Maître	2703811	J.P.コラール(pf)A.デュメイ(vn), ミュアQt. / ショーソン:Vn・Pfと弦楽四重奏のための協奏曲Op.21, 弦楽四重奏曲Op.35「未完成」(3楽章未完版)	¥8,800	DS	S8
1429-026	La Voix De Son Maître	2C 069-02042	S.リヒテル(pf)D.オISTRAフ(vn)M.ロストロポーヴィチ(vc)H.v.カラヤン指揮ベルリンpo. / ベートーヴェン:三重協奏曲Op.56	¥2,750	S	A8/7
1429-027	La Voix De Son Maître	2C 069-02767	M.ロストロポーヴィチ(vc)I.ブラウン指揮アカデミー室内o. / ハイドン:Vc協奏曲集(全曲)/Vc協奏曲1番Hob.VIIb:1, Vc協奏曲2番Hob.VIIb:2,	¥4,400	QS	A8/7
1429-027b	La Voix De Son Maître	2C 069-02767	M.ロストロポーヴィチ(vc)I.ブラウン指揮アカデミー室内o. / ハイドン:Vc協奏曲集(全曲)/Vc協奏曲1番Hob.VIIb:1, Vc協奏曲2番Hob.VIIb:2,	¥2,200	QS	A8/7
1429-028	La Voix De Son Maître	2C 069-02164	J.デュ・ブレ(vc)D.バレンボイム指揮シカゴso. / ドヴォルザーク:Vc協奏曲Op.104, Vcと管弦楽のための「森の静けさ」Op.68-5	¥16,500	S	A7
1429-029	La Voix De Son Maître	2C 069-07047	P.トルトゥリエ(vc)Y.P.トルトゥリエ指揮ロイヤルpo. / シューマン:Vc協奏曲Op.129, ボエルマン:交響的変奏曲Op.23, ブルッフ:ホル・ニドライOp.47	¥5,500	S	S8/7
1429-030	La Voix De Son Maître	2C 069-07594	P.トルトゥリエ(vc)J.フェルバー指揮ヴェルテンベルクco. / ハイドン:Vc協奏曲集(全曲)/Vc協奏曲1番Hob.VIIb:1, Vc協奏曲2番Hob.VIIb:2,	¥6,600	DS	S8
1429-031	PHILIPS	2702681	Y.メニューイン(vn)P.トルトゥリエ(vc)P.ベルグルンド指揮ロンドンpo. / ブラームス:Vn・Vc二重協奏曲Op.102	¥7,700	DS	A8/7
1429-032	La Voix De Son Maître	2C 069-02044	A.ワイセンベルク(pf)H.v.カラヤン指揮パリo. / チャイコフスキー:Pf協奏曲1番Op.23	¥4,400	S	A8/7
1429-033	La Voix De Son Maître	2C 069-02374	A.ワイセンベルク(pf)H.v.カラヤン指揮ベルリンpo. / ラフマニノフ:Pf協奏曲2番Op.18, フランク:交響的変奏曲	¥3,850	S	A8/7

1429-034	La Voix De Son Maître	2C 069-03764	A.ワイセンベルク(pf)L.バーンスタイン指揮フランス国立o.(旧ORTF) / ラフマニノフ:Pf協奏曲3番Op.30	¥5,500	S	S8
1429-035	La Voix De Son Maître	2C 069-11301	A.ワイセンベルク(pf)小澤征爾指揮パリオ. / ラヴェル:Pf協奏曲ト長調, プロコフィエフ:Pf協奏曲3番Op.26	¥4,400	S	A8/7
1429-036	La Voix De Son Maître	2C 069-12598	A.ワイセンベルク(pf)C.M.ジュリーニ指揮ロンドンso. / ブラームス:Pf協奏曲1番Op.15	¥4,400	S	A8/7
1429-037	La Voix De Son Maître	1435211	A.ワイセンベルク(pf)R.ムーティ指揮フィラデルフィアo. / ブラームス:Pf協奏曲1番Op.15	¥8,800	DS	S8
1429-038	La Voix De Son Maître	2C 069-03679	J.P.コラール(pf)L.マゼール指揮フランス国立o. F.メルヴィル(フレンチhr) / ラヴェル:Pf協奏曲ト長調, 左手のためのPf協奏曲	¥5,500	S	S8/7
1429-039	La Voix De Son Maître	2C 069-16338	J.P.コラール(pf)M.プラッソン指揮トゥールーズ・カピートルo. / ラフマニノフ:Pf協奏曲2番Op.18	¥5,500	QS	S8/7
1429-040	La Voix De Son Maître	2705521	J.P.コラール(pf)A.プレヴィン指揮ロイヤルpo. / サン・サーンス:Pf協奏曲2番Op.22, Pf協奏曲4番Op.44	¥8,800	DS	A8/7
1429-041	La Voix De Son Maître	2C 069-02040	S.リヒテル(pf)L.マゼール指揮パリオ. / ブラームス:Pf協奏曲2番Op.83	¥4,400	S	A8/7
1429-042	La Voix De Son Maître	2C 069-02615	S.リヒテル(pf)L.v.マタチッチ指揮モンテカルロ国立歌劇場o. / グリーグ:Pf協奏曲Op.16, シューマン:Pf協奏曲Op.54	¥6,600	S	S8/7
1429-043	La Voix De Son Maître	2C 069-02733	A.チッコリーニ(pf)J.マルティノン指揮パリオ., I.パールマン(vn/ツィガーヌ) / ラヴェル:Pf協奏曲ト長調, 狂詩曲「ツィガーヌ」, 左手のためのPf協奏曲	¥5,500	QS	A8/7
1429-044	La Voix De Son Maître	2C 069-12124	S.ケルセンバウム(pf)J.マルティノン指揮フランス国立放送o. / チャイコフスキー:Pf協奏曲2番Op.44	¥4,400	S	S8/7
1429-045	La Voix De Son Maître	2C 069-02941	C.オルティス(pf)V.アシュケナージ指揮ニュー・フィルハーモニアo. / ヴィラ・ロボス:ブラジル風バツハ3番, 幻想曲「モモブレコッセ」	¥4,950	QS	A8/7
1429-046	La Voix De Son Maître	2C 069-02614	A.B.ミケランジェリ(pf)E.d.シュトウツ指揮チューリッヒ室内o. / ハイドン:Pf協奏曲11番Hob.XVIII:11, Pf協奏曲4番Hob.XVIII:4	¥4,400	S	A7
1429-047	La Voix De Son Maître	4C 069-60132	J.C.ヴァンデン・エインデン(pf)P.バルトルメ指揮リエージュo. / デ・グレーフ:Pf協奏曲1番, グリーグ:Pf協奏曲Op.16	¥3,850	QS	S8/7
1429-048	La Voix De Son Maître	2C 069-03693	A.カヴリーロフ(pf)R.ムーティ指揮フィルハーモニアo. / チャイコフスキー:Pf協奏曲1番Op.23	¥1,650	S	A8/6
1429-049	La Voix De Son Maître	2700201	D.スグロス(pf)Y.シモノフ指揮ベルリンpo. / ラフマニノフ:Pf協奏曲3番Op.30	¥4,400	DS	A8
1429-050	His Master's Voice	4C 161-95897-900	R.ヴェルテン, M.デュボ, C.v.ネステ, M.ラスキン(vn) E.ドヌー指揮ベルギー放送室内o. / ベルギーのVn楽派Vol.1/ヴュータン, イザイ, レナール, ベリオ, プルーム, ド・クルス	¥16,500	S	A8/7
1429-051	His Master's Voice	4C 161-96986-9	E.ヴォルカート, C.クアタッカ, G.オクトース, C.ジョンゲン(vn), E.ドヌー指揮ベルギー放送室内o. / ベルギーのVn楽派Vol.2/ベリオ, ド・クルス, ロンケ, ド・ベック, ヴュータン	¥9,900	S	A7/6

1429-052	La Voix De Son Maître	2C 069-12506～	S.フランソワ(pf)L.フレモー指揮モンテカルロ国立歌劇場o. , P.バルビゼ(pf/Op.73) / ショパン:Pf協奏曲1番Op.11, Pf協奏曲2番Op.21, 2PfのためのロンドOp.73	¥8,800	S	A8/7
1429-052b	La Voix De Son Maître	2C 069-12506～	S.フランソワ(pf)L.フレモー指揮モンテカルロ国立歌劇場o. , P.バルビゼ(pf/Op.73) / ショパン:Pf協奏曲1番Op.11, Pf協奏曲2番Op.21, 2PfのためのロンドOp.73	¥5,500	S	A8/6
1429-053n	DECCA	LXT 2517	J.クリップス指揮ロンドンso. / ブラームス:交響曲4番Op.98	¥5,500	M	B7
1429-054	DECCA	LXT 2502	E.アンセルメ指揮スイス・ロマンドo. / ストラヴィンスキー:バレエ音楽「ペトルーシュカ」	¥4,400	M	A6
1429-055	DECCA	LXT 2566	O.レナルディ(vn)C.ミュンシュ指揮コンサートヘボウo. / ブラームス:Vn協奏曲Op.77	¥7,700	M	A7
1429-055b	DECCA	LXT 2566	O.レナルディ(vn)C.ミュンシュ指揮コンサートヘボウo. / ブラームス:Vn協奏曲Op.77	¥6,600	M	A7
1429-056n	DECCA	LXT 2574	M.ロスタル(vn)M.サージェント指揮ロンドンso. / バルトーク:Vn協奏曲第2番Sz.112	¥6,600	M	B7
1429-057	DECCA	LXT 2575	グリラーQt.(J.オブライエン(vn), P.バートン(va)C.ハンブトン(vc) / シベリウス:弦楽四重奏曲4番Op.56「親愛なる声」	¥6,600	M	A7
1429-058n	DECCA	LXT 2595	J.カッチェン(pf)A.フィストウラーリ指揮ロンドン新so. / ラフマニノフ:Pf協奏曲2番Op.18	¥3,850	M	A7
1429-059	DECCA	LXT 2528	J.ミショー(s) / R.デゾルミエール指揮パリ音楽院o./M.マシソン指揮ロンドンso. / オペラ歌曲集/グノー, オッフェンバック, プロッホ, ロッシーニ, シャルパンティエ, ビゼー	¥22,000	M	A7
1429-060	DECCA	LXT 2586	W.フルトヴェングラー指揮ロンドンpo. / ブラームス:交響曲2番Op.73	¥8,800	M	A7
1429-061	RCA	430 568	F.クライスラー(vn)S.ラフマニノフ(pf) / グリーグ:Vnソナタ3番Op.45, シューベルト:VnソナタD.574「グラン・デュオ」	¥5,500	M	A7
1429-062	RCA	RL 10487	M.ジャンドロン(vc)井上直幸(pf) / シューベルト:アルペッジョーネ・ソナタ, マレ:ラ・フォリア, ロカテッリ:Vcソナタ	¥7,700	S	A8/7
1429-063	Club Français Du Disque	381	J.ユボー(pf)R.ベネデッティ(vn)P.ラデュイ(va)A.ナヴァラ(vc)G.ロジュロ(cb) / シューベルト:五重奏曲Op.114「鱒」	¥13,200	M	A7
1429-064	Club National du Disque	CNDS 75	レーヴェンゲートQt. / ドビュッシー:弦楽四重奏曲Op.10 , ラヴェル:弦楽四重奏曲	¥13,200	S	A7

1429-001	16500 円 (税込)
	
英国 His Master's Voice	
BLP 1028	
モノラル	
A	
7	
10 インチ	
ブラームス : Vn・Vc 二重協奏曲 Op.102	
G. デ・ヴィート (vn) A. バルドヴィーノ (vc) R. シュワルツ指揮フィルハーモニア o.	
レーベルタイプ:【英国での第 2 版 /RRIAA カーヴの最初】- 金大ニッパ一段付,6 時に Angel マー	
ジャケット:【英国でのオリジナル】- ラウンド折返両面コートペラ・"aka scalloped" (ホタテ貝	
トピックス:1952 年ロンドンでのモノラル録音,録音詳細不明,英国では 1953 年頃 The Gramophone Co. Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同年 10" 盤が His Master's Voice:BLP 1028(金大ニッパ中溝レーベル・フラット盤・当ジャケット入り)にて初	
キズ情報:	
商品説明 :G. デ・ヴィート (vn)R. シュワルツ指揮のブラームス :Vn 協奏曲は有名だが、当盤はそれより約 1 年前の 1952 年頃にチェロの A. バルドヴィーノ (vc) を加えたブラームス :Vn・Vc の二重協奏曲 Op.102。10" で発売された為、あまり知られていない。また曲についても二重協奏曲は通常の Vn 協奏曲ほど知られていない。しかしながらこの曲は大変充実して書かれている。この曲は初めは交響曲となるはずであったが、作曲の途中で協奏曲に変更された経緯がある。ブラームスの協奏曲は管弦楽パートが極めて充実しているの、どの曲も「独奏付き交響曲」と言えるほどである。優れた独奏者でなければ演奏効果の上がらない難曲である。ブラームスの作曲した最後の管弦楽作品であり、その後ブラームスはピアノ曲や歌曲、室内楽曲の作曲に専念することになる。シュワルツによるスケールの大きなオケに二人の巨匠が名人芸を静かに展開する名演である！	

1429-002	3300 円 (税込)
	
フランス COLUMBIA	
FP 1147	
モノラル	
A	
7	
10 インチ	
ミュージック・ホールの黄金時代 Vol.17	
ダミア (voc)	
レーベルタイプ:【フランスでの第 2 版】- 緑/銀音符段なし,6 時に Mede in France, グルーヴ	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 表コートペラ, (P)©なし, ジャケ裏年号: なし (フ	
トピックス:録音年代不明, パリでのモノラル録音,1963 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・同年仏 COLUMBIA:FP 1147(緑/銀音符段付レーベル・当ジャケット入り)にて Les Belles Années Du Music-Hall - 17として初	
キズ情報:	
商品説明 :シャンソン歌手ダミア (Damia) は本名マリー・ルイズ・ダミアン (Marie-Louise Damien・1889 - 1978) でフランスのシャンソン歌手であり、映画女優。1911 年より歌手として活動。孤独や絶望をテーマにした作品を数多く歌唱、発表するようになる。第一次世界大戦中には自ら戦線へ赴き、歌唱で兵士たちを慰問した。“現実派シャンソン”と呼ばれる作品を積極的に採り上げ唄ったことで知られ、「シャンソンの悲劇女優」と呼ばれるようになる。1936 年に録音・発表された「Sombre Dimanche」(邦題:『暗い日曜日』)は世相を反映し、フランス国内では放送禁止に、日本国内では発禁になるなど物議を醸したことで特に知られている。1953 年 5 月には訪日公演を催行。東京、名古屋、京都、大阪、福岡、仙台にて公演した。これら公演は好評を博し日本でも根強い人気があることを裏付けるに加え新たなファンをも獲得した。この公演中に足袋を気に入り、フランス帰国後も生涯履き続けたというエピソード	

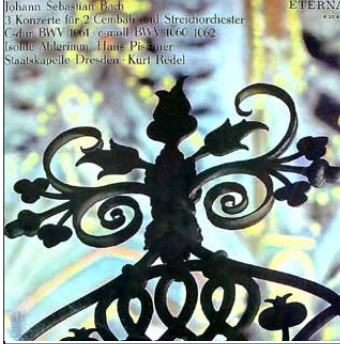
1429-003	3300 円 (税込)
	
フランス VEGA	
C35S 194	
モノラル	
A	
7	
10 インチ	
ブラームス : Pf ソナタ 3 番 Op.5	
P. バドゥラ・スコダ (pf)	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 白黒 堅 琴 浅 中 溝,3 時に Haute Fidélité	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 折返表コートペラ, 引き出し厚紙付,12 時に La	
トピックス:【入荷の少ない希少タイトル】-1954 年ウィーン・Wiener Konzerthaus・でのモノラル録音,録音詳細不明,Westminster 音源,米国では 1954 年 WESTMINSTER:WL 5245(赤/銀中溝レーベル・厚紙ジャケット入り)→1957 年頃 XWN 18447(灰青/銀中溝レーベル・グレーヴガード	
キズ情報:	
商品説明 :米 Westminster 録音の仏オリジナル。特にピアノソロに関しては、NIXA よりこちらの方が良いかも知れない。VEGA のややシャープな音が、ピアノの角を丸めずに、くっきりと再生してくれるからだ。この曲に関しては、雰囲気や聴かせるよりメカニックで聴かせる曲なので、スコダもかなり大胆に、スケールも大きく弾いている。そして、細かな音までくっきりと硬質に感じる程、ディテールにこだわった演奏。弱音も美しく再生され、実に快適で理想的なピアノの音である！スコダは同時代のウィーンの仲間であるイェルク・デムスらと多数のウェストミンスター録音（モーツァルト、シューベルト、ショパンなど）を行っているがブラームスのソロ録音はこの 1 曲だけと思われる。尚ソナタ以外ではラプソディ第 2 番がある。ピアノ協奏曲第 1 番 / 第 2 番も録音している。この協奏曲はスコダが校訂・編纂を手掛けたペータース社の原典版楽譜も広く知られている。室内楽ではアントニオ・ヤニグロとのブラー	

1429-004	2200 円 (税込)
	
フランス PHILIPS	
S 06678 R	
モノラル	
A	
7	
10 インチ	
ブラームス : Vn 協奏曲 Op.77	
Z. フランチェスカッティ (vn) E. オーマンディ指揮フィラデルフィア o.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 黄/赤小 Minigroove 内溝,Classiques Pour Tous.	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 水色ベースモノクロ写真・折返両面紙ペラ,2 時に口	
トピックス:1956 年 2 月 19 日 /3 月 2 日米国フィラデルフィアでのモノラル録音,米国では 1956 年 Columbia Broadcasting System, Inc によりコピーライト登録・同年米 COLUMBIA: ML 5114(6eyes レーベル)にて初リリース,フランスでは 1959 年頃仏 PHILIPS:S 06678 R(当装丁)	
キズ情報:	
商品説明 :1905 年フランス・マルセイユ生まれの巨匠フランチェスカッティは録音も多い。ブラームスは 2 回録音しており、1956 年オーマンディ / フィラデルフィアとの初回モノラルと、バーンスタイン / ニューヨークとの 1961 年モノラル / ステレオ録音がある。どちらも明るい表情で歌うラテン気質の魅力に溢れている。これは初回録音。幸いにもフランチェスカッティの名前は日本盤である CBS ソニーの強力なプロモーションもあり、年配のクラシックファンならば誰もが知る存在であろう。フランス人だが米国 COLUMBIA レーベルの中心的なヴァイオリン奏者としてシゲティとファンを二分した存在であった。録音当時フランチェスカッティは 53 歳。オーマンディ / フィラデルフィアのフィラデルフィアサウンドとともにメジャーヴァイオリン協奏曲の日本における一つのスタンダードとして多くの方に聴かれてきた録音と思われる。10" の 1 曲入りフランス盤は 12"2 曲入りより、見た目ではささか部が悪い。しかし音質は 2 曲入	

1429-005	2200 円（税込）
	
フランス PHILIPS S 06123 R モノラル A 7 10 インチ	
Vn 作品集 Vol.2/ グノー：アヴェ・マリア クライスラー：愛の喜び、愛の悲しみ マスネ：タイスの瞑想曲 他 T. マジャール (vn) W. ヒールケマ (pf)	
レーベルタイプ：【フランスでの第2版】－黄／赤小 Minigroove 内溝,Classiques Pour Tous, ジャケット：【フランスでの第2版】－赤ベースモノクロ写真・折返両面紙ペラ,2時に口 トピックス：1955 年頃のアムステルダムでのモノラル録音,録音詳細不明,オランダでは 1955 年頃 Phonogram International B.V., Baarn によりコピーライト登録・同年 PHILIPS:N 00605 R(緑／銀 Minigroove 内溝レーベル・フラット盤・ピンク系共通デザイン折返両面紙ペラジャケット入り) キズ情報：	
商品説明：1950 年代初頭 PHILIPS で活躍した代表的ヴァイオリニスト、トーマス・マジャール(1913-2008)はハンガリー、ブダペスト生まれのヴァイオリン奏者。フランチ・リスト音楽院でイエネー・フバイに師事し、後にカール・フレッシュの下で研鑽を積んだ。1936 年からソリストとして活動し、第二次世界大戦後にロッテルダム音楽院の教授となった。それを機に PHILIPS と専属契約を交わし、1955 年にはシモン・ゴールドベルクの創設したオランダ室内管弦楽団に参加、コンサートマスターを務めた。ソリストとして PHILIPS に少なくとも 4 枚の 10" の Vn 小品集と 12" にグラズノフ・シベリウス：Vn 協奏曲集、10" でハチャトゥリアン：Vn 協奏曲、10" でドヴォルザーク：Vn 協奏曲、12" でバッハ：無伴奏 Vn パルティータ 2/3 番などの録音を残した。何れも PHILIPS の LP 最初期の録音の為 10" 発売が多かった。この 10" は 1950 年代中期の発売でクライスラーなどの定番的な Vn 小品を 7 曲収録したもの。	

1429-006	3300 円（税込）
	
オランダ PHILIPS A 01606 R モノラル A 7:B 面に SAMPLE シール 10 インチ	
ラヴェル： 弦楽四重奏曲 ヘ長調 ブダペスト Qt.： J. ロイスマン, A. シュナーダー (vn) B. クロイト (va) M. シュナーダー (vc)	
レーベルタイプ：【オランダでのオリジナル】－アズキ／銀 Minigroove 内溝,ザラザラ表面,フラッ ジャケット：【オランダでのオリジナル】－赤／黒イラスト・折返両面紙ペラ,ⓅⓈなし,ジャケット トピックス：1940 年 9 月 8 日ニューヨーク・リーダー・クランツ・ホール (Liederkrantz Hall, New York) での SP 録音,録音詳細不明,1947 年 SP が米 COLUMBIA:MM 425(12"×4 枚・アルバム入り)にて初リリース,1948 年 12"LP 化されラヴェル 1 曲入りが米 COLUMBIA:ML 4091(紺／金ツヤ中溝レー キズ情報：	
商品説明：ブダペスト四重奏団は 1917 年にブダペスト歌劇場管弦楽団のメンバーによって結成され、メンバーの変遷を遂げながら 1967 年 2 月まで活動した古い団体。1938 年からアメリカに定着して活動し、最終的なメンバーは全員ロシア人となり、ハンガリーおよびブダペストとは関係が無くなったが、名声を得たのはロシア人のヨーゼフ・ロイスマンが第 1 ヴァイオリンとなって以後である。19 世紀からのロマン主義的な歌い回しを避け、活動当初は新即物主義的な解釈を行ったこと、第 1 ヴァイオリンの圧倒的優位を避け、各声部の平等主義を取ったことなどから、現代の弦楽四重奏演奏のスタイルに大きな影響を与えた。また 1940 年から長年にわたりアメリカ合衆国の議会図書館付きの弦楽四重奏団としても活躍し、ガートルード・クラーク・ホイットール夫人が 1935 年に議会図書館に寄贈したストラディヴァリウスを演奏に使用した。なお、この地位の 1962 年以降の後任がジュリアード弦楽四重奏団であ	

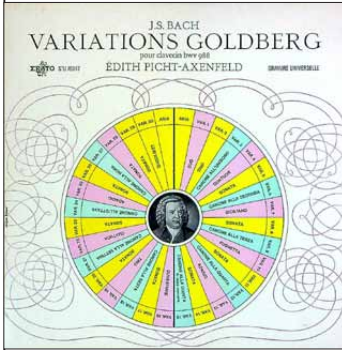
1429-007	9900 円（税込）
	
ポーランド MUZA SX 0483 ステレオ A 8/7	
バッハ： 無伴奏 Vn ソナタ 1 番 BWV.1001 無伴奏パルティータ 3 番 BWV.1006 K. A. クルカ (vn)	
レーベルタイプ【ポーランドでのステレオ第2版】－赤／黒,センターホール上に黒口 STEREO, グルー ジャケット：【ポーランドでの汎用デザイン】－汎用デザイン両面紙ペラ,ⓅⓈなし,ジャケ裏年号： トピックス：【入荷の少ない希少タイトル】－1969 年又はそれ以前のポーランド・ワルシャワでのモノラル／ステレオ録音,録音技師：Janusz Pollo, プロデューサー：Antoni Karuzas, ポーランドでは 1970 年頃 Polskie Nagrania Muza によりコピーライト登録・同年 MUZA からモノラル：XL キズ情報：	
商品説明：クルカが西側に出る前にポーランド MUZA に入れたバッハ無伴奏。録音当時 20 代前半だったので単なる若手とされていた節もあるが、西側ではこの録音に注目し TELEFUNKEN が発売を行った。演奏を聴けば、どれ程の実力かよくお解りになるはず。若手だったとはいえ、只者ではないことが伝わる。弦の国、ポーランドの血をしっかりと受け継いだ、正統派の演奏だ。盤の内容がレーベルや国で決められてしまうことの悲しさの見本のようなレコード。全曲録音はなくこの一枚のみ。クルカの中でもトップレベルの内容!! コンスタンティ・クルカ(1947-)はポーランド・グダニスク生まれ。8 歳の頃からヴァイオリンを始め、生地の音楽院でステファン・ヘルマンの薫陶を受けた。17 歳の時、ジェノヴァで開催されたニコロ・パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで入賞。1964 年のミュンヘン国際音楽コンクールで第 1 位を受賞して国際的な知名度が高まった。1994 年より、ワルシャワでフレデリック・ショ	

1429-008	3300 円（税込）
	
旧東ドイツ ETERNA 820 693 モノラル A 7	
バッハ： 2Cemb 協奏曲 1～3 番 BWV.1060～1062 H. ピシュナー, I. アールグリム (cemb) K. レーデル指揮ドレスデン sk.	
レーベルタイプ：【旧東ドイツでのモノラル・オリジナル】－緑白／黒 V 字小ロゴ浅内溝, グルーヴ ジャケット：【旧東ドイツでのモノラル・オリジナル】－旧デザイン・両面紙ペラ,ⓅⓈなし,ジャケ裏 トピックス：1965 年 12 月 5-10 日ドレスデン・ルカ教会スタジオ (Studio Lukaskirche, Dresden) でのモノラル／ステレオ録音,録音技師：Claus Strüben,1967 年 VEB Deutsche Schallplatten Berlin DDR にてコピーライト登録・同年 ETERNA からモノラル：820 693(当装丁)にて初リリース, キズ情報：	
商品説明：ETERNA のバッハ Cemb 協では、一人の指揮者で全集は作っていない。4 枚とも ETERNA 録音だが、ザンデルリングがベルリン so. と、レーデルがドレスデン sk. と 2 枚ずつ録音し、ソリストも 2 種に分かれる。しかし統一性がないかと言えばそんなことはなく、ETERNA サウンドで統一されている。技師シュトリューベンが全て録音。なお、B.1057-9 は元々録音が無く、そのまま欠番としたようだ。録音はどれも素晴らしく、ソロとのバランスも良い。ステレオ盤には V 字ステレオ・レーベルが 1960 年代 (1964～1967 年) の中期のほんの数年間だけリリースされ、どれも高額である。ただしモノラルは完全に成熟していて安定した自然体で普通にお勤めできる。当時の ETERNA はステレオ技術が遅れていて、DGG から何らかの支援を受けたと思われる。しかし 1969 年になると ETERNA は独自のステレオ技術を確立して、すっきりとシャープな黒盤の ETERNA・サウンドに舵を切った。しかし 1960 年代録音ではモ	

1429-009	7700 円（税込）
	旧ソ連 MELODIYA C10 07925
	ステレオ
	A
	8/7
バッハ： Va ソナタ BWV.1027 ~ 1029 （原曲：Gamb ソナタ）	
Y. クラマロフ (va) A. ウゴルスキー (pf)	
レーベルタイプ： 【旧ソ連での第 2 版世代】- 水色 / 黒 SL (特殊シングルレター), グルーヴガード	
ジャケット： 【旧ソ連での第オリジナル世代】- 両面紙ペラ (モスクワ・アブレレフカ), © 1986 ©	
トピックス： 【入荷 2 度目の希少タイトル！】-1976 年頃 Leningrad Recording Studio でのステレオ録音, 録音技師：Felix Gurdzhi, プロデューサー：Cleopatra Ivanova, 1976 年 MELODIYA:C10 07925 (SL レーベル) にて初リリース→ 1986 年当レーベルに変更, 同時期にゴシックレーベルが	
キズ情報：	
商品説明： 通常はガンバ又は Vc で演奏する B.1027-9 をヴィオラで演奏した MELODIYA 初の試み。Va のユーリ・クラマロフはレニングラード音楽院の教授。彼は当局と折り合いが悪く、冷遇された為録音は少ない。他にモーツァルトの K.364 と Vn/Va のデュオがある。一時タニエフ Qt. のメンバーだった（幸松氏の著書では触れていない）。ソ連におけるヴィオラ演奏の重鎮である。知らずに聴けば Va とは判らないほど低い音を出す。ゆったりした秀演！ユーリ・クラマロフ (1929-1982) はモスクワ生まれのヴィオラ奏者、教師、ロシア・ソビエト連邦社会主義共和国功労芸術家。父親のマルク・モイセーヴィチは技師であり、1937 年 8 月 16 日にスパイ行為と反ソ連破壊工作・テロ組織への参加の容疑で逮捕され、同年 11 月 5 日に銃殺刑に処された。1956 年に名誉回復された。母親のアントニーナ・ヴァシリエヴナ・クラマロワは、祖国への反逆者の家族の一員として逮捕され、収容所に送られた後、国外追放された。	

1429-010	4400 円（税込）
	フランス TRIANON TRX 6133
	モノラル
	A
	7
バッハ： Vn 協奏曲 2 番 BWV.1042 2Vn 協奏曲 BWV.1043 無伴奏 Vn ソナタ 2 番 BWV.1003 ~ サラバンド	
L. コーガン (vn) O. アッカーマン指揮フィルハーモニア室内 o. E. ギレリス (vn/B.1043)	
レーベルタイプ： 【フランスでの再版 / 当番号の最初】- ピンク白堅琴 / 黒逆内溝, 6 時に Made	
ジャケット： 【フランスでの再版 / 当番号の最初】- 折返表コートペラ, © なし, ジャケ裏年号：	
トピックス： 1955 年ロンドンでのモノラル録音, 録音詳細不明, 英国では 1956 年 Columbia Graphophone Company Ltd. によりコピーライト登録・同年英 COLUMBIA:33 CX 1373 (紺 / 金音符段付ツヤレーベル) にて初リリース, フランスでは同 1957 年仏 COLUMBIA:FCX 540 (紺 / 銀音符内	
キズ情報：	
商品説明： TRIANON など再版レーベルだと無視するとコーガンの名盤を一生聴けずに過ごすことになるかもしれない。オリジナルがレアで高額な場合は非常に役立つレーベルである。TRX 6133 は 1966 年に初リリースされたフランス盤で、オリジナルの 33 CX 1373 は 1956 年発売なので実は 10 年しか経っていない初期盤なのである。仏オリジナルの FCX 540 は 1957 年頃初リリースなのでフランス同士では 9 年しか経過していない立派な初期盤。33 CX 1373/FCX 540 は入手の難しい高額盤。しかし TRX 6133 でもコーガンのキメの細かいヴィブラート、低音から高音までの豊かな響きを聴く事が出来る。ルクレール、テレマン等を収録した 2Vn 作品集 (SAX 2531) 等、いくつかの共演を残す E. ギレリスの妹で、コーガンの奥方のエリザベータ・ギレリスとの 2Vn 協奏曲も素晴らしい。バッハの作品と同様に普遍的な演奏と言えるだろう。近年世界的なコーガン・ブームでステレオ、モノラルを問わず高騰している。これは	

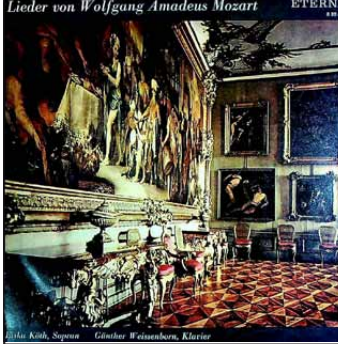
1429-011	6600 円（税込）
	オランダ PHILIPS 6833 166
	ステレオ
	A
	7/6
バッハ： 無伴奏 Vc 組曲 5 番 BWV.1011 無伴奏 Vc 組曲 6 番 BWV.1012	
T.d. マクラ (vc)	
レーベルタイプ： 【オランダでのオリジナル】- 灰青 / 銀 3 本線土手, 枠内 4 時に Made in	
ジャケット： 【オランダでのオリジナル】- 表コートペラ, © なし, ジャケット裏年号：なし (オラ	
トピックス： 【初入荷の希少タイトル！】-1975 年又はそれ以前のオランダでのステレオ録音と思われる, 録音詳細不明, 1975 年 N.V. Philips Phonografische Industrie によりコピーライト登録・同年 PHILIPS:6833 166 (当装丁) にて初リリース, これはオランダでの初年度リリース分オリジ	
キズ情報： B 面 7 時に極小～小～中～小 33 回出るスレー 6	
商品説明： PHILIPS 初期の重要なチェロ奏者にティボー・デ・マクラ (1912-1982)、ハンガリー生まれが居る。マヒュラ / マヒューラ等とも表記されるが、ハンガリー人はマクラと発音するため当社ではマクラで統一する。7 歳の頃よりブダペスト音楽院でアドルフ・シッファーにチェロを学ぶ。1924 年にブダペストでデビューを飾ったが、1927 年にイエネー・フバイの助言に従い、アメリカに渡ってカーティス音楽院のフェリックス・サモンドの薫陶を受けた。1936 年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席チェロ奏者に就任。1947 年にはアムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団の首席チェロ奏者に転任し、1977 年に勇退。フィンランドでも大いに活躍したらしい。モノラル期の PHILIPS に比較的多くの録音を残している。マクラのスタイルは同郷のシュタルケル程の派手さはなく地味なスタイルだが、フルトヴェングラーからも声が掛かるような堅実なもので、隠れファンは多いのではと思われる。当時の	

1429-012	7700 円（税込）
	フランス ERATO STU 70347
	ステレオ (GU)
	A
	8/7
バッハ： ゴルトベルク変奏曲 BWV.988	
E. ピヒト・アクセンフェルト (cemb)	
レーベルタイプ： 【フランスでのオリジナル】- 紺白堅琴浅内溝, 9 時に Made in France, グルーヴ	
ジャケット： 【フランスでのオリジナル】- 折返表コートペラ, © なし, ジャケ裏年号：なし (フラ	
トピックス： 【入荷の少ない希少タイトル！】-1965 年頃パリでのステレオ録音と思われる, 録音技師：Peter Willemoes, プロデューサー：不明, フランスでは 1968 年頃 Editions Costallat によりコピーライト登録・同年 ERATO:STU 70347 (当装丁) にて初リリース, これはフランスでの初年度	
キズ情報：	
商品説明： 1965 年頃 ERATO によるパリ録音。STE は存在せず、STU 堅琴レーベルでオリジナル。後に鍵盤作品全集の中に組み込まれる。ERATO の音は華やかで、春の花が乱れ咲いたかのような雰囲気がある。これは SUPRAPHON では出ないだろう。彼女の演奏は決して大胆なものではないが、その音色が美しい為か、大作を聴いている気持ちになる。レオンハルト達のようにテンポをいじり過ぎる事もなく正統な演奏だが、どこか人を惹き付ける力のあるゴルトベルク変奏曲！エディット・ピヒト＝アクセンフェルト (1914 - 2001) はドイツ・バーデン＝ヴュルテンベルク州・フライブルク生まれ。5 歳でピアノを始め、音楽学校を卒業後、ピアノをルドルフ・ゼルクンに、オルガンでヴォルフガング・アウアー、アルベルト・シュヴァイツァーに師事した。1935 年、ベルリンでデビュー。1937 年に第 3 回ショパン国際ピアノ・コンクールで第 6 位特別賞 (ショパン賞) を受賞。1947 年から 1980 年までフライブルク音楽大学で	

1429-013	22000 円（税込）
	オランダ PHILIPS A 00244 L モノラル A 7
モーツァルト： Pf 協奏曲 22 番 K.482 8 つの変奏曲 K.460	
A. ヘクシュ (pf) B. パウムガルトナー指揮ウィーン so.	
レーベルタイプ：【オランダでのオリジナル・タイプ】- 蘭アズキ / 銀 Minigroove 土手, センターホー	
ジャケット：【オランダでのオリジナル】- 表コートペラ, 下部に Mozart Jubileumsutgave 1756-	
トピックス：【入荷の少ない希少タイトル!】-1956 年頃ウィーンでのモノラル録音, 録音詳細不明, オランダでは 1956 年 PHILIPS:A 00244 L(蘭アズキ / 銀 Minigroove 内溝レーベル・フラット盤・当ジャケット入りにて)にて初リリース, これは 2 年後の 1958 年頃製造のオリジナル・タイプ盤が	
キズ情報 :B 面 6 時に微か〜極小 3+7 回出る点	
商品説明：女性ピアニスト、A. ヘクシュは 1950 年代 PHILIPS に集中的に録音があり、N. デ・クラインとアムステルダム・デュオを組みソナタ録音もあるが、ソロは意外にも少なく、数点の協奏曲があるのみ。モーツァルトジュビリーの中でもレアなアイテムだ。硬質な音でコリコリとした質感。旋律を明快に奏でる。'50 年代にあっては珍しいタイプかも知れない。ベタついたところのないクリアなタッチで、パウムガルトナーとの息もぴったり。このシリーズにはハスキルも入れているが、ハスキルとは正反対のスタイルだ。Andante ではこのタッチがガラス細工のような緻密な芸を見せる。レア! アリス・ヘクシュ (1912-1975) の 2 枚のモーツァルト:Pf 協奏曲はプレスが少なく貴重であり、アムステルダム・デュオで録音した 10・4 枚のモーツァルト:Vn ソナタ集はさらに希少な盤である。ヘクシュの憂いを秘めた音色が決って幸福だけではなかったモーツァルトの人生を語っているようである。	

1429-014	16500 円（税込）
	フランス CONCERTEUM CVX 358 モノラル A 7: キズ情報参照
ショーソン： 詩曲 Op. 25, モーツァルト： Vn 協奏曲 3 番 K.216	
J. ティボー (vn) P. バレー指揮ラムルー o.	
レーベルタイプ：【フランスでの LP(当カップリング) のオリジナル】- 紫銀輪中溝, フラット重量,	
ジャケット：【フランスでの LP(当カップリング) のオリジナル】- 両面紙ペラ, ㊦㊧なし, ジャケ	
トピックス：モーツァルト:1947 年 10 月 29 日 SP(電気) 録音, LP 初出は 1950 年代初期米 POLYDOR:PLP 6420(+モーツァルト:SQ11 番 K.171), ショーソン:1947 年 11 月 4 日 SP(電気) 録音, LP 初出は 1950 年代初期米 POLYDOR:PLP 6450(+フォーレ:Pf と管弦楽のためのバラード :G. カサ	
キズ情報：軽度のオワン・トレース問題なし	
商品説明：ショーソン：詩曲の仏プレス (CONCERTEUM:CCD 380) はあるが、モーツァルトの方は米盤しか存在しないと考えていた。しかしショーソン/モーツァルト 3 番という理想的なカップリングが出てきた。元々がフランスでの 1947 年の SP 録音で LP 復刻は米国レーベルが最初に行った。どちらもバリ・ラムルーとの共演。ティボーの神技とも思える表情はしっかり伝わる。1 枚でティボーの重要な録音が 2 曲揃い、しかもフランス盤という理想的な 1 枚。古い録音だが充分に楽しめる音質である。モーツァルト 5 番は FJLP 5015 の復刻盤が存在するが 3 番に FJLP 番号は存在しない。録音時のティボーは 67 歳であり、最盛期を過ぎてはいるが、独特の節回しは健在で、何よりそこそこの良い LP で聴ける点がありがたい。さすがの 1950 年代のフランス盤である。1990 年以降の日本での多くの SP 復刻盤の努力は素晴らしいが、音の貧弱さが悔やまれる。	

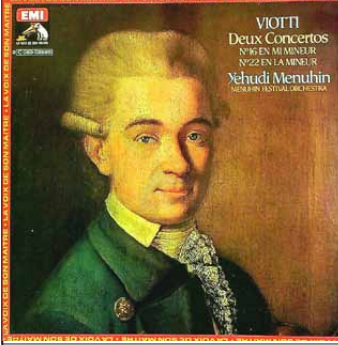
1429-015	4400 円（税込）
	フランス ANGELICUM 945 962 ステレオ A 7
モーツァルト： Vn 協奏曲 3 番 K.216 Vn 協奏曲 4 番 K.218	
F. グッリ (vn/ 指揮) アンジェリクム o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】- 赤 / 銀輪黒逆内溝, 6 時に Made in France(ラウン	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】- 折返表コートペラ, ㊦㊧なし, ジャケット裏年号：なし,	
トピックス：【初入荷の希少タイトル!】-1965 年頃イタリア・ミラノでのステレオ録音, 録音詳細不明, イタリアでは 1966 年頃 Angelicum Dischi, Italy によりコピーライト登録・同年 ANGELICUM から初リリースと思われる (未入荷につき番号不明), フランスでは Discoolis のライセンス製造に	
キズ情報：	
商品説明：F. グッリ (vn)A. ジョルダン指揮ローザンヌ室内 o. との 3/5 番というカップリングが MMS(コンサート・ホール系)にあったが、これはそれとは別の ANGELICUM のイタリア録音。フランコ・グッリ (1926 ~ 2001) はイタリア、トリエステ出身の名ヴァイオリニスト、名教師。シェフチェク (セヴシツ) に師事した父親より手ほどきを受け、キジアーナ音楽院ではヨアヒムとブゾーニに師事したアリゴ・セラートに学ぶ。その後、大ヴァイオリニストのヨゼフ・シゲティにも教えを受けた。1947 年にピアニストのエンリカ・カヴァッロ (1921 ~ 2007) とデュオ・チームを組み、1950 年に結婚。以来、半世紀に亘って、夫婦での二重奏を呼び物とした他、1957 年にはヴィオラのブルーノ・ジュランナ、チェロのアマデオ・バルドヴィーノと共にイタリア弦楽三重奏団を結成し、室内楽奏者として多彩な活動を行う。また、戦後一世を風靡したファザーノ指揮ローマ合奏団のソリストとしても活動し、1962 年には同団と初来日	

1429-016	3850 円（税込）
	旧東ドイツ ETERNA 820 683 モノラル A 8/7
モーツァルト：歌曲集 (20 曲) / K.476, K.518, K.147, K.520, K.531, K.596, K.579, K.597 他	
E. ケート (s) G. ヴァイセンボルン (pf)	
レーベルタイプ：【旧東ドイツでのモノラル・オリジナル】- 緑白 / 黒 V 字小ロゴ内溝, ♪ 33, グルー	
ジャケット：【旧東ドイツでのモノラル・オリジナル】- 折返表半ツヤペラ, ㊦㊧なし, ジャケ裏年	
トピックス：1966 年旧東ドイツでのモノラル / ステレオ録音, 録音詳細不明, 1967 年 VEB Deutsche Schallplatten Berlin, DDR にてコピーライト登録・同年 ETERNA からモノラル:820 683(当装丁)にて初リリース→1970 年頃同一番号・黒 / 銀レーベル・ツヤペラ裏 70 のジャケット入りに変更さ	
キズ情報：	
商品説明：ケートの傑作 LP! 彼女唯一の ETERNA 録音。1966 年に録音されたようだ。ETERNA のみ存在。両面でモーツァルトの歌曲を 20 曲も収録。モーツァルトの歌曲集の中でも、ダントツに曲数が多い。何といっても、ケートの可憐な声で歌われる歌曲の愛らしさと言ったら、大物オペラ歌手の入れた同様の録音とは比較のしようもない。ケートの美点が見事に花開いた LP。トップ 3 として異論はないだろう。エリカ・ケート (1927-1989) はドイツ・ダルムシュタットの生まれ。小児麻痺を克服して歌手となった。彼女の夜の女王を聴いたフルトヴェングラーは彼女を呼び寄せ、この役でザルツブルク音楽祭に出演させたい。1942 年にエルザ・ブランクと共にダルムシュタットで音楽の勉強を始め、中断した後、1945 年に再開した。彼女は 1948 年にミニョンのフィリーネとしてカイザースラウテルンで舞台デビューし、その後カールスルーエで活動した。1953 年にミュンヘン国立歌劇場とウィーン国立歌劇場でデビューし、	

1429-017	9900 円 (税込)
	フランス CALLIOPE CAL 1600 01
	ステレオ (GU)
	A: 背に黄ばみ
	8/7
	W ジャケット 2 枚組
モーツァルト: アイネ・クライネ・ナハトムジーク K.525, セレナータ・ノットウルナ K.239 弦楽ディヴェルティメント K.136 ~ 138 他 A. ブルフロワ指揮 チェコスロバキア室内 o. プラハ	
レーベルタイプ: 【フランスでの 2 枚組のオリジナル・タイプ】- 灰 / 黒白竪琴内溝, 2 時 / 9 時に ジャケット: 【フランスでの 2 枚組のオリジナル・タイプ】- 開両面コート W, ㊞㊞なし, ジャケ裏年 トピックス: 【2 枚組は初入荷でバラより希少!】-1976 年 3 月パリにてステレオ録音, 録音技師:Georges Kisselhoff, プロデューサー:Jacques Le Calvé, 編集 / カッティングマスター:不明, 芸術監修:Otakar Stejskal, 1977 年 Arpège によりコピーライト登録・同年 CALLIOPE:CAL 1601 と キズ情報: 第 1 面 10 時に無音小点, 4 時に微かに 1+2 回出る点→7	
商品説明: フランス人指揮者アラン・ブルフロワがチェコのチェコスロバキア室内 o. プラハを振ったフランスでの録音と思われる。1970 年代フランスのレーベルである CALLIOPE はタリフ Qt. (タリヒ Qt.) 等をフランスに招き多くの録音を行った。プラハ室内 o. も数点の録音を CALLIOPE に行っている。CALLIOPE は当時のフランスでは高音質録音を掲げた新興レーベルで、他社との差別化を図る為に多くのチェコ音楽家を起用した戦略を取ったと思われる。1970 年代の SUPRAPHON と比較しても流石に音質は良く、存在感は大きい。その音楽性と音質の良さが注目され、デンマークのオーディオメーカーである Bang et Olufsen(B&O) への OEM 供給分が数点あるほど、音質は評価されている。ここではチェコスロバキア室内 o. プラハの弦楽合奏版による演奏。ソロをふんだんに使った小編成のすっきりしたバロック的な合奏である。コンサートマスターはペイル・ザドヴィアル (Vn) と思われる。アラン・ブルフロ	

1429-018	2750 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2701271
	デジタル・ステレオ
	S
	8
モーツァルト: コンサート・アリア集 / ルチオ・シラ, イドメネオ, フィガロの結婚, アリア K.369, K.490, K.272 B. ヘンドリックス (s) J. テイト指揮イギリス室内 o.	
レーベルタイプ: 【フランスでのオリジナル】- 後期大ニッパ, 9 時に Made in France by Pathé ジャケット: 【フランスでのオリジナル】- 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La トピックス: 1984 年 6 月 12-17 日ロンドン・アビーロードスタジオでのデジタル録音, 録音技師:Christopher Parker, プロデューサー:Eric Macleod, 1984 年 EMI Records Ltd. によりコピーライト登録・同年 2701271(各国同一番号同一レーベル)にて初リリース, これはフランスプレスでの キズ情報:	
商品説明: A 面がコンサート・アリア 3 曲、B 面がオペラ・アリア 4 曲の全 7 曲構成。'84 年に録音された仏オリジナル。デジタル録音だが、音質は殆ど問題ない。黒人歌手としては非常に可憐な声質のヘンドリックス。想像とは全く異なり、可憐ながら張りがあるよく通る声であり、現代の歌姫にふさわしい力量の持ち主。ファンも多い。デジタル期にあって、なお大切にしたい 1 枚。デジタル嫌いの方にもお薦めできる。驚くほどの美声!バーバラ・ヘンドリックス (1948-) はアメリカ合衆国アーカンソー州スティーヴンス出身のソプラノ歌手。ニューヨークのジュリアード音楽学校に進学し、メゾソプラノ歌手のジェニー・トゥーレルに声楽を師事して学士号を取得する。1974 年にヨーロッパにおいてオペラ歌手として活動を開始し、グライントボーン音楽祭にデビューし、国内ではサンフランシスコ歌劇場でデビューした。これまでにスカラ座やパリ・オペラ座、ロイヤル・オペラ・ハウス、メトロポリタン歌劇場など、	

1429-019	6600 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-03597
	ステレオ
	S
	8/7
シマノフスキ: Vn 協奏曲 1 番 Op.35 Vn 協奏曲 2 番 Op.61 K. A. クルカ (vn) J. マクシミウク指揮ポーランド国立放送 so.	
レーベルタイプ: 【フランスでのオリジナル】- 赤 EMI ニッパ, 2 時に STÉREO, 6 時に Made in ジャケット: 【フランスでのオリジナル】- 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La トピックス: 【入荷の少ない希少タイトル!】-1978 年 11 月 3-5 日ポーランド・カトヴィツェポーランド放送・テレビ局スタジオでのステレオ録音, EMI 録音で MUZA からは LP 未発売と思われる, 録音技師:Johann-Nikolaus Matthes(ELECTROLA), プロデューサー:Gerd Berg(ELECTROLA), ドイツで キズ情報:	
商品説明: この録音は 1978 年 11 月ポーランド・カトヴィツェ・ポーランド放送局スタジオで行われたようだが MUZA との共同制作録音ではなく、EMI(ELECTROLA)の単独録音のようである。何より MUZA からは LP が発売された形跡がない。また録音技師とプロデューサーは何方でも ELECTROLA の人間である。ポーランド側は ELECTROLA 盤(特にカセットテープ)を輸入したようである。これまで大半の録音が共同制作又は他社への音源供給だけだったのにこの録音だけ特別らしい。コンスタンティ・クルカ (1947-) はポーランド・グダニスク生まれ。8 歳の頃からヴァイオリンを始め、生地の音楽院でステファン・ヘルマンの薫陶を受けた。17 歳の時、ジェノヴァで開催されたニコロ・パガニーニ国際ヴァイオリン・コンクールで入賞。1964 年のミュンヘン国際音楽コンクールで第 1 位を受賞して国際的な知名度が高まった。1994 年より、ワルシャワでフレデリック・ショパン音楽大学の教授を務め、弦楽部門のトップも務めている	

1429-020	3300 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02895
	ステレオ
	A
	8/7
ヴィオッティ: Vn 協奏曲 16 番ホ短調 Vn 協奏曲 22 番イ短調 Y. メニューイン (vn/ 指揮) メニューイン祝祭 o.	
レーベルタイプ: 【フランスでのオリジナル】- カラー切手ニッパ, 12 時に黒字で STÉREO, 6 時に ジャケット: 【フランスでのオリジナル】- 三方開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La トピックス: 16 番:1975 年 7 月 / 1976 年 12 月, 22 番:1974 年 6 月ロンドンでのステレオ録音, 録音技師:Neville Boyling, プロデューサー:John Mordler, 英国では 1978 年 E.M.I. Records Limited によるコピーライト登録・同年 His Master's Voice:ASD 3492(モノクロ切手ニッパ キズ情報:	
商品説明: ジョヴァンニ・バッティスタ・ヴィオッティ (1755 - 1824) はイタリアのヴァイオリン奏者、作曲家。ヴァイオリン奏者としてのヴィオッティの影響力は大きい。ピエール・ロードやピエール・バイヨを教え、ルドルフ・クロイツェル(彼らは後に著名な教師となった)に大きな影響を与えた実績から、ヴィオッティは 19 世紀のフランス・ヴァイオリン楽派の創設の父と呼ばれる。また、弓の製作者フランソワ・トゥルテ(トゥールト)に助言を与え、現在の一般的な弓の形を作り上げた。後にニコロ・パガニーニに影響を与えたアウグスト・ドゥラノフスキ (August Duranowski) も教えている。29 曲から成るヴァイオリン協奏曲を作曲している。第 22 番イ短調、第 23 番ト長調などがあるが、とりわけ第 22 番イ短調 (1792) は今日に於いても演奏頻度が極めて高い。オケのメニューイン祝祭 o. (Menuhin Festival Orchestra) に関してはヴァイオリニストのユディ・メニューインが主宰した音楽祭を母体とす	

1429-021	3300 円 (税込)
----------	-------------



フランス La Voix De Son Maître
2C 069-02266
ステレオ
A
8/7

メンデルスゾーン：
Vn 協奏曲 Op.64
Vn 協奏曲二短調 (2 番)

Y. メニューイン (vn)
R. フリュベック・デ・ブルゴス指揮
ロンドン so.

レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- カラー切手ニッパ, 6 時に Made in France by

ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 三方開赤枠両面コート, 11 時にアズキ口 EMI 黒ニッパ

トピックス:1971 年 11 月 15/17 日ロンドンでのステレオ録音, 録音技師:Neville Boyling, プロデューサー: Ronald Kinloch Anderson, 英国では 1972 年 Electric & Musical Industries Limited. Hayes-Middlesex-England によるコピーライト登録・同年 His Master's Voice:ASD

キズ情報:

商品説明:1972 年頃、ブルゴスの指揮でロンドン so. と全 2 曲を録音。しかも今回は殆ど演奏されない 1822 年作の二短調を含む。この曲はメニューインその人が、1953 年ロンドンのメンデルスゾーンの子孫の家で発見。初演もまた彼の手で行われた。作者 13 歳の時の作品。1952 年米 RCA・LM 1720 に世界初録音を入れた。指揮者はメニューイン自身で弾き振りがだった (RCA ビクター o.)。尚その LM 1720 の A 面はメンデルスゾーン:Vn 協奏曲 Op.64 で、フルトヴェングラー指揮ベルリン po. だった。メニューイン自身この曲の紹介を願ったのだろうか、複数回の録音がある。これが 1971 年 2 回目録音の仏オリジナル。因みに通常のメンデルスゾーン:Vn 協奏曲とされる Op.64 はこれが 4 回目の録音となる。非常に謙虚で初心にかえったような気分が伝わってくる。ブルゴスというラテン系指揮者との珍しい共演で、腕が落ちたとされる 1960 年代と比べると、また盛り返したように感じる。かなりの自己鍛錬を重ねたことがわか

1429-022	4400 円 (税込)
----------	-------------



フランス La Voix De Son Maître
2C 069-43089
デジタル・ステレオ
S
8/7

チャイコフスキー：
Vn 協奏曲 Op.35
イタリア奇想曲 Op.45

V. スピヴァコフ (vn)
小澤征爾指揮フィルハーモニア o.

レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 赤 EMI ニッパ, 2 時に STÉREO, 6 時に Made in

ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La

トピックス:【入荷 2 度目の希少タイトル!】-1981 年 4 月 27-28 日ロンドンでのデジタル録音, 録音技師:John Kurlander, プロデューサー: John Willan, 英国では 1982 年 E.M.I. Records Limited によるコピーライト登録・同年 His Master's Voice: ASD 4173(後期大ニッパ・ド

キズ情報:

商品説明:ロシア人ヴァイオリン奏者、ウラディミール・スピヴァコフと小澤征爾の共演という珍しい組み合わせ。録音は 1981 年 4 月ロンドン。小澤征爾の LP の中でも特に珍しい 1 枚。ウラディミール・スピヴァコフ (1944-) はロシア連邦中央部に位置するバシコルスタン共和国 (バシキリア) の首都のウファの生まれ。人口の 3 割がタタール人である。スピヴァコフはユダヤ人家庭に生まれる。1955 年にレニングラード音楽院付属音楽学校に編入した。1963 年に同校を卒業し、1963 年から 1968 年にかけてモスクワ音楽院でユーリー・ヤンケレヴィチのクラスで学ぶ。その後研究科に進み、1970 年に卒業。演奏者としては 1965 年からコンサート活動を始めており、1970 年からモスクワ・フィルハーモニーのソリストを務めた。1975 ~ 1990 年、グネーシン音楽大学で教える。1994 ~ 2005 年にはチューリヒでマスタークラスを開いた。ユーリー・ヤンケレヴィチ (1909 - 1973) は 20 世紀の旧ソビエト連邦 (ロシア) を代

1429-023	6600 円 (税込)
----------	-------------



フランス La Voix De Son Maître
2701761
デジタル・ステレオ
S
8

ラロ：
スペイン交響曲 Op.21
サラサーテ：
ツィゴイネルワイゼン Op.20

A.S. ムター (vn)
小澤征爾指揮フランス国立 o.

レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 後期大ニッパ, 3 時に STÉREO Origine MAGN.

ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La

トピックス:【入荷の少ないレア・デジタル!】-1984 年 5 月 29-30 日パリ・サル・ワグラムでの (Salle Wagram, Paris) デジタル録音, 録音技師:Michael Sheady, プロデューサー:John Fraser / Michel Glotz(ツィゴイネルワイゼン), 1985 年 Les Industries Musicales Et

キズ情報:

商品説明:1984 年 5 月 29-30 日パリ・サル・ワグラムでのデジタル録音。1983 年女性 CI 奏者ザビーネ・マイヤーの入団問題でベルリン po. と大きく対立したカラヤンは、ウィーン po. へと主軸をシフトしてゆく。カラヤンに認められて人気の出た女性 Vn 奏者ムターは、カラヤンとの共演が減ってゆく中で危機感を感じた? まだカラヤンがベルリン po. にいる間に、何と小澤とパリで共演したのがこれだ。意外な組み合わせ。当時二人とも世界的な人気を博しており、内容はブラボーと呼べるくらいの秀演。セールのにも成功した。フランス盤は特に希少。レア・デジタル! アンネ=ゾフィー・ムター (1963-) は西ドイツ・バーデン=ヴュルテンベルク州ラインフェルデンの生まれ。13 歳でヘルベルト・フォン・カラヤンに招かれ、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団と共演、国際的に天才少女の名をほしいままにする最初のきっかけとなる。1977 年には、ダニエル・バレンボイム指揮のイギリス室内管弦楽団と共演して、

1429-024	6600 円 (税込)
----------	-------------



フランス La Voix De Son Maître
2C 069-73129
デジタル・ステレオ
S
8

サン・サーンス：
Vn 協奏曲 3 番 Op.61
ハバネラ Op83
序奏とロンド・カプリッチョーソ Op.28

A. デュメイ (vn)
矢崎彦太郎指揮モンテカルロ po.

レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 後期大ニッパ, 3 時に STÉREO Origine MAGN.

ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La

トピックス:【入荷の少ないレア・デジタル!】-1982 年 6 月 18-19 日モンテカルロ・ガルニエ・ホールでのデジタル録音, 録音技師:Serge Rémy, プロデューサー:Eric Macleod, 1983 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・同年

キズ情報:

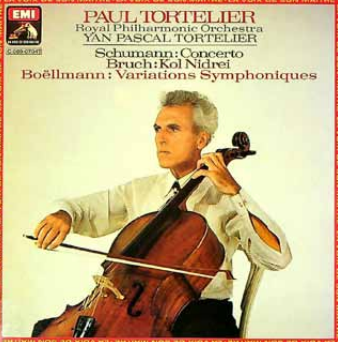
商品説明:1982 年のデジタル録音。'70 ~ 80 年代、時代を牽引する Vn の人材が不足していたときにあって、この人の才能は星の如く光るものがある。その強い個性は、録音技術の低下と言う環境下でもしっかりと我々の耳を捉えて離さない。オケ付き作品でも年代を考えると極めて素晴らしい出来映え。'80 年代の録音でまともに聴けるものはこれ以外でどれほどあるだろうか? オーギュスタン・デュメイ (1949-) はフランス、パリ生まれのヴァイオリン奏者。じっくりと音楽に取り組む姿勢を見せ、活動は比較的地味だが、師事したアルテュール・グリュミオーを受け継ぐフランコ・ベルギー派 (the Franco-Belgian violin school) の正統な後継者らしく、気品あるエレガントな演奏で高く評価されている。両親に連れられて聴きに行ったナタン・ミルシテインの演奏会が切っ掛けだったという。10 歳でパリ音楽院に入学、13 歳で卒業するという神童ぶりを発揮した。14 歳で、モントルー音楽祭でリサイタルを開く。

1429-025	8800 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2703811
	デジタル・ステレオ
	S 8
ショーソン： Vn・Pfと弦楽四重奏のための協奏曲 Op.21 弦楽四重奏曲 Op.35「未完成」(未完版)	
J.P. コラール (pf) A. デュメイ (vn) ミューア Qt.)	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】-後期大ニッパー, 3時にSTEREO Origine MAGN.	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】-見開赤枠両面コート, 11時に赤口EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【入荷の少ないレア・デジタル!】-1985年10月29日・11月2/3/4日パリ・サル・ワグラムでの(Salle Wagram, Paris)デジタル録音, 録音技師: Pierre Saint, プロデューサー: Eric Macleod, 1986年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi.	
キズ情報：	
商品説明：これは極めて入荷の少ない1985年のパリでのデジタル録音。レア・デジタルLP! J.P. コラール (pf) A. デュメイ (vn) という1970-80年代にフランスEMI系で活躍した若手たちと1980年米国で結成された若い団体であるミューア弦楽四重奏団が共演したショーソン: Vn・Pfと弦楽四重奏(6名)のための協奏曲がA面、B面途中～ショーソンの唯一の弦楽四重奏曲であり、未完のまま終わったOp.35が入る。B面は当然ながらミューア弦楽四重奏団による演奏でJ.P. コラール (pf) A. デュメイ (vn) は不参加。ミューア Qt. は1980年第1Vn: リュシー・ストルツマン、第2Vn: ベイラ・キーズ、Va: スティーブン・アンセル、Vc: マイケル・レイノルズの4人で全員1951-55年生まれの若手で構成されている。ガリミア Qt. ブダペスト Qt. などの指導を受け、米国だけでなく欧州でも盛んに活動を行った。ミューアという名称は米国国立公園の父と言われるジョン・ミューアに因んでいる。全員が野外スポーツの愛好家	

1429-026	2750 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02042
	ステレオ
	A: グランプリシール 8/7
ペートーヴェン： 三重協奏曲 Op.56	
S. リヒテル (pf) D. オイストラフ (vn) M. ロストロポーヴィチ (vc) H.v. カラヤン指揮ベルリン po.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】-カラ一切手ニッパー, 6時に白字で口EMI 下に外周	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】-三方開赤枠両面コート, 11時に白口EMI 黒ニッパー La	
トピックス：1969年9月15-17日ベルリン西ベルリン・ベルリン・ダーレム・イエズス・クリストゥス教会 RIAS スタジオ (Berlin-Dahlem・Jesus-Christus-Kirche. FRG) でのステレオ録音, 録音詳細不明, ドイツでは1970年EMI Electrola. G.m.b.H Kölnによりコピーライト登録・同年	
キズ情報：	
商品説明：1969年録音。ベルリンにロシアの大物巨匠ソリスト陣(リヒテル、オイストラフ、ロストロポーヴィチ)と帝王カラヤンが集まった。宣伝効果の大きな組み合わせでクラシック音楽史上の伝説的となった国籍を超えた共演である。DGGとの契約がありながらも、EMI系にも録音するという、カラヤンでしか許されないことを平然とやってのける超人ぶり。彼の音楽の好き嫌いは別として、どの録音にも一定以上のクオリティーを獲得した類稀なる偉大な指揮者だった。仏プレスでは洪くならがちなベルリン po. の音がやや華やいで聴こえる。元氣よく3人を迎えるベルリン po.。ロシア勢だけでも20世紀を代表するソ連出身の巨匠ダヴィッド・オイストラフ(ヴァイオリン)、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ(チェロ)、スヴィアトスラフ・リヒテル(ピアノ)が顔を合わせることは滅多にない。西側の帝王ヘルベルト・フォン・カラヤンがベルリン・フィルを率いて重厚なオーケストラ伴奏を担当。これは一つの協	

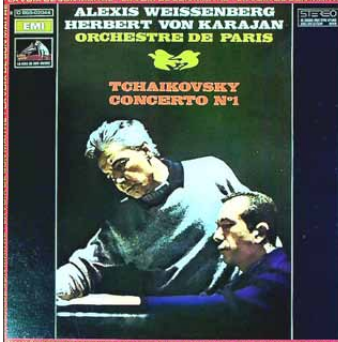
1429-027	4400 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02767
	ステレオ・クワドロフォニック
	A 8/7
ハイドン: Vc 協奏曲集 (全曲) / Vc 協奏曲 1 番 Hob.VIIb:1 Vc 協奏曲 2 番 Hob.VIIb:2	
M. ロストロポーヴィチ (vc) I. ブラウン指揮アカデミー室内 o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】-カラ一切手ニッパー, 12時に黒字でSTEREO, 6時に	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】-三方開赤枠両面コート, 11時に赤口EMI 黒ニッパー La	
トピックス：1975年11月15・16日ロンドン・アビイロード第1スタジオでのステレオ/クワドロフォニック録音, 録音技師: Neville Boyling, プロデューサー: David Motley, 英国では1976年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・Englandによりコピーライト登録・同年 His Master's	
キズ情報：	
商品説明：1975年のロンドン録音。2007年に亡くなったロストロポーヴィチの弾き振り。このLPは、1977年のCharles Cros ディスク大賞を受賞した英国録音。オケもソロも今までにないスケールの大きさと、ロストロは、ひそかに、こんな演奏をしたかったのだということが解かる。通常、ハイドンのVc協として知られるVIIb:2 Op.101はもちろんのこと、VIIb:1の演奏が素晴らしい。オケパートにも相当に研究の成果が表れているように感じる。聖マーチン・アカデミーの弾むオケがまったく見事。ロストロ快心の作!! オケのアカデミー室内管弦楽団は1959年にネヴィル・マリナーが創立し、ARGO、DECCA、PHILIPSなどに多くの録音を行った室内楽編成のオーケストラである。1959年 - 1978年まではネヴィル・マリナーが音楽監督を務めたが、この録音の2年後の1978年 - 2004年の間アイオナ・ブラウンが務めた。アイオナ・ブラウンはこの録音でもコンサートミストレスを担当している。この録音はネヴィル・マリ	

1429-028	16500 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02164
	ステレオ
	A 7
ドヴォルザーク： Vc 協奏曲 Op.104 森の静けさ Op.68-5	
J. デュ・プレ (vc) D. バレンボイム指揮シカゴ so.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】-カラ一切手ニッパー, 6時に白字で口EMI 下に外周	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】-三方開赤枠両面コート, 11時に赤口EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【フランス盤の入荷の少ない希少プレス】-1971年11月11日米国シカゴ・メディナ・テンブルにてステレオ録音, 録音技師: Carson Taylor, プロデューサー: Peter Andry, 米国では1971年 Electric & Musical Industries (U.S.) Ltd. によりコピーライト登録・同年 Angel	
キズ情報：	
商品説明：1970年代に入ってからバレンボイム指揮による米シカゴ録音。バレンボイムの若々しいオケも悪くない。しかし、Vcが入ると全てが一変する。揺るぎ無い存在感に満ちたチェロは王者のように、賢者のように、永遠に枯れる事のない泉のように溢れ出てきて全てを覆いつくす。過去にこれ程までに語るチェロは聴いた事がない、一音一音に恵みと慈愛が包まれている。時に力強く厳しく、時に聖母の如く優しく、前人未到の領域に踏み込んだチェロ! Angel がオリジナルと言えるが英/仏盤が音質では勝る。この録音の約2年後の1973年10月には難病「多発性硬化症」と診断され引退した。実はこれが唯一のドヴォルザークの録音で、この翌月の1971年12月にロンドンで録音したショパン/フランク・ソナタ集が最後のスタジオ録音となった。フランス盤に強い当社でもフランス盤が最も希少!	

1429-029	5500 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-07047 ステレオ S: 曲名に修正 8/7: キズ情報参照
シューマン :Vc 協奏曲 Op.129, ボエルマン : 交響的変奏曲 Op.23 ブルッフ : コル・ニドライ Op.47	
P. トルトウリエ (vc) Y.P. トルトウリエ指揮ロイヤル po.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 赤 EMI ニッパ, 2 時に STÉREO, 6 時に Made in	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤 枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La	
トピックス:1978 年 10 月 9-10 日ロンドンでのステ レオ録音, 録音技師: Stuart Eltham, プロデュ サー: John Fraser, 英国では 1979 年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同年 His Master's Voice: ASD 3728 (モノクロ切手ニッパ・両面コ ー)	
キズ情報: 軽度のオワン・トレースは問題ない	
商品説明: トルトウリエのシューマン :Vc 協奏曲 はモノラル期にアーベントロートと初回録音があ る。これは 1978 ~ 1979 年に長男ヤン・パスカル ・トルトゥリエに振らせた 2 回目録音。黄金期、 '50 年代後半 ~ '60 年代に何故録音が無い? 協奏 曲の場合、仕上がりは自身の意志は全ては通ら ない。指揮者が大物ならはなおのことである。彼 はこの曲だけは思い通りにやりたいが為に機会が 巡ってくるのを待っていたのでは? カデンツァも 自作を用い、フルニエ同様ノーブル路線の彼にし ては氣迫が漲る演奏! 意外だが P. トルトウリエの シューマンは 1955 年ライプツィヒでのアーベント ロートとのモノラル放送録音が最初で正規録音で はなかった。発売も 1970 年代に入り ETERNA: 821 955 で初めて LP 化された。これは P. トルトウリ エの初正規のスタジオ録音である。ボエルマン とコル・ニドライは初録音と思われる。ポール ・トルトゥリエ (1914 - 1990) はパリ生まれ。6 歳 よりチェロを始め、パリ音楽院でチェロをジェー	

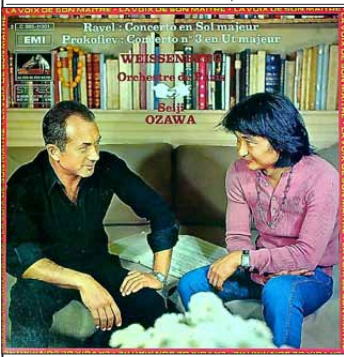
1429-030	6600 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-07594 デジタル・ステレオ S 8
ハイドン :Vc 協奏曲集 (全曲) / Vc 協奏曲 1 番 Hob.VIIb:1 Vc 協奏曲 2 番 Hob.VIIb:2	
P. トルトウリエ (vc) J. フェルバー指揮ヴェルテンベルク co.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 赤 EMI ニッパ, 2 時に STÉREO, 6 時に Made in	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤 枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La	
トピックス:【フランス盤は初入荷の希少タイト ル!】-1981 年 7 月 6-8 日ドイツ・バーデン=ヴェ ルテンベルク州ハイルブロン・聖十字架教会 (Kreuzkirche, Heilbronn) でのデジタル録音, 録音技師: Wolfgang Gulich, プロデューサー: John Fraser, ドイツでは 1982 年 EMI Electrola.	
キズ情報:	
商品説明:1981 年ドイツでのデジタル録音。驚く ことに P. トルトウリエにとってこれは初のハイド ン: 協奏曲録音である。モノラル期にあってもよ さそうな印象だが実はこれは初録音となった。興 味深いのは、トルトゥリエ自身のカデンツァを使っ ていることである。ただし録音は初でも演奏会で は取り上げていた事実がある。トルトゥリエの回 想録的な資料に、エディンバラの Usher Hall で ハイドンの二長調協奏曲を演奏したエピソードが 出ている。演奏後、少年が楽屋で「第 3 楽章を 弾いているとき、どんな物語を考えているの?」 と尋ねたところ、トルトゥリエは即座に、メリー ・ゴーラウンドや泣く赤ん坊、母親たちが走り回る 遊園地のような情景を語った、というものである。 つまり少なくとも、録音のかかなり前からハイド ン 2 番を演奏レパートリーにしていたことは確認 できる。したがって、「1981 年に初めてハイドン を弾いた」という話ではない。トルトゥリエが 67 歳の時の録音であり、かなり晩年になってから、	

1429-031	7700 円 (税込)
	フランス PHILIPS 2702681 デジタル・ステレオ A 8/7
ブラームス : Vn・Vc 二重協奏曲 Op.102	
Y. メニューイン (vn) P. トルトウリエ (vc) P. ベルグランド指揮ロンドン po.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- 後 期大ニッパ, 2 時に STÉREO, 6 時に Made in	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 見開赤 枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La	
トピックス:【フランス盤は入荷 2 度目の希少タイ トル!】-1984 年 11 月 15-16 日ロンドン・アビーロ ード・スタジオでのデジタル録音, 録音技師: Christopher Parker, プロデューサー: David R. Murray, 英国では 1985 年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト	
キズ情報:	
商品説明: 巨匠ユーディ・メニューインとポール ・トルトゥリエが共に 70 歳前後を迎えた晩年の共 演であり、二人より 15 歳程年下のフィンランドの 指揮者パーヴォ・ベルグランドがロンドン・フィ ルハーモニー管弦楽団を振った 1984 年のデジタル 録音。この時期のデジタル録音の LP は CD 生 産とカセット・テープとの 3 種並行発売の影響で プレスが少ない。したがってこれらはレア・デジ タル LP として、通常の 1970 年代の LP より希少 であることが多い。LP で聴きたい方にとって入手 の難しい時代である。1916 年生まれのユーディ・メ ニューインはこの時既に 68 歳の高齢である。指 揮者と異なりヴァイオリン奏者が活動できる期間 は長くない。68 歳で録音が許されることがむし ろ異常事態である。メニューインがこれまでに EMI に残した実績が物を言っているのだろう。およ そ協奏曲を演奏できる年齢ではないはずだがメ ニューインの最後の録音は 1990 年頃であり、指 揮者としては亡くなる年の 1999 年まで続いた長	

1429-032	4400 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02044 ステレオ A 8/7
チャイコフスキー : Pf 協奏曲 1 番 Op.23	
A. ワイセンベルク (pf) H.v. カラヤン指揮パリ o.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】- カ ラー切手ニッパ, 6 時に白字で Made in France	
ジャケット:【フランスでのオリジナル】- 三方開 赤枠両面コート, 11 時に黄口 EMI 黒ニッパ La	
トピックス:1970 年 2 月 9-11 日パリ・サルワグラ ム (Salle Wagram, Paris) でのステレオ録音, 録音技師: Michael Gray, プロデューサー: Michel Glotz /Peter Andry, フランスでは 1970 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・	
キズ情報:	
商品説明:1967 年パリ音楽院 o. を発展的に解消、 シャルル・ミュンシュを創立指揮者に迎え、パリ 管弦楽団が設立。ところが、翌 1968 年にミュン シュは北米ツアー中に急逝してしまう。まだ生ま れて間もない楽団だった為、次の芸術的方向性 を示す人物が急務であった。当時のパリ管は「新 しいフランスの代表オーケストラ」として期待さ れていたが、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、 ロンドン交響楽団などに比べると、まだ国際的な ブランド力はなかった。そこでパリ管弦楽団の当 局は既に世界最高峰の地位にあったカラヤンを 迎えることで、国際的な注目を集める、録音活動 を活発化する、オーケストラの演奏水準を短期 間で引き上げるなどの課題に対処できると考えた のだろう。カラヤンに音楽顧問の要請が来た。 翌 1969 年から 1971 年までの 3 年間カラヤンは音 楽顧問に就任する。確かにカラヤンはオーケス トラ全体を一つの楽器のように扱う統率力に非常 に優れている。しかしあまりに多忙であった為、	

1429-033	3850 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02374 ステレオ A 8/7
ラフマニノフ： Pf 協奏曲 2 番 Op.18 フランク： 交響的変奏曲 A. ワイセンベルク (pf) H.v. カラヤン指揮ベルリン po.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパ 6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開 赤枠両面コート, 11 時に黄口 EMI 黒ニッパ La トピックス：ラフマニノフ：1972 年 9 月 - 1973 年 1 月 / フランク：1972 年 9 月 21-27 日ベルリンでのステレオ録音, 録音技師：Wolfgang Güllich, プロデューサー：Michel Glotz, ドイツでは 1973 年 EMI Electrola G.m.b.H Köln によりコピーライト登録・同年 ELECTROLA:1C 065-02 374 Q, (金 EMI キズ情報： 商品説明：1966 年パリで奇跡の復活を遂げたピアニスト、ワイセンベルク (1929 年ブルガリア生まれ)。当時パリのシェフを兼任していたカラヤンに見初められ、1970 年パリで初めてチャイコフスキー：Pf 協奏曲 1 番の共演録音を行った。以来ワイセンベルクは殆どカラヤンの専属ピアニストのような状態になるが、プレッシャーの中でよくその期待に応えた。これは 1972 年カラヤンの本拠地ベルリンに乗りこんでの録音。最初で最後のラフマニノフ：Pf 協奏曲 2 番となった。Pf 協奏曲 3 番は 2 回録音している。Pf 協奏曲 1/4 番の録音は無い。既に両者はチャイコフスキー 1 番を入れており、その直ぐ後の録音でお互いに勝手に勝手をはかっている。そしてこの後、1974 年からベートヴェン全集へと繋がっていく。アレクシス・ワイセンベルク (1929- 2012) は、ブルガリア生まれのユダヤ人ピアニスト。苦勞の末、米国に脱出した過去を持つ。その後、1946 年にニューヨークのジュリアード音楽院に入学。サマロフ、ラン	

1429-034	5500 円 (税込)
 RACHMANINOV CONCERTO N°3 EN RE MINEUR WEISSENBERG • BERNSTEIN ORCHESTRE NATIONAL DE FRANCE 	フランス La Voix De Son Maître 2C 069- 03764 ステレオ S 8
ラフマニノフ： Pf 協奏曲 3 番 Op.30	
A. ワイセンベルク (pf) L. バーンスタイン指揮 フランス国立 o. (旧 ORTFo.)	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 EMI ニッパー , 2 時に STÉREO, 6 時に Made in ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤 枠両面コート, 11 時に 赤口 EMI 黒ニッパー La トピックス：【入荷 2 度目の希少タイトル！】 - 1979 年 9 月 14-5 日パリでのステレオ録音, 録音技 師 : Paul Vavasseur, プロデューサー : Michel Glotz, フランス では 1981 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・同年 La Voix De	
キズ情報：	
商品説明 : LP 時代にワイセンベルクはラフマノ フの協奏曲を 2/3 番の 2 曲しか録音していない。 2 番はベルリンでカラヤンと、3 番はプレートルと の録音 (RCA) があるが、これは 1979 年パリでの バーンスタインとの珍しい共演。ワイセンベルク の Pf 協奏曲 3 番はこれが 2 回目の録音となる。 1968 年の RCA 初回録音も悪くはなかったが、大 物バーンスタインを意識してか、カラヤンの時と は異なるムードがある。落ち着いて始まり、ど こかリラックスした気分。地味な曲ながら楽しんで 演奏している気配。初回の方が緊張感を感じた。 珍しき満点 ! 1970 年パリでのカラヤンと初共演し たチャイコフスキー 1 番〜カラヤンのお気に入り となりすっかり EMI 系の看板ピアニストとなった ワイセンベルク。ますます活躍の幅を広げ、当時 フリーランスの指揮者となっていたバーンスタイン とのパリでの共演である。バーンスタインにと ても数少ない EMI 系録音。オケはカラヤンと初共 演の時の新生パリオ。ではなく、今回はパリオと	

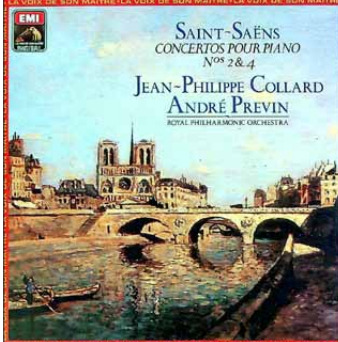
1429-035	4400 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-11301 ステレオ A: 内側に本人サイン 8/7
ラヴェル： Pf 協奏曲 ト長調 プロコフィエフ： Pf 協奏曲 3 番 Op.26 A. ワイセンベルク (pf) 小澤征爾指揮バリ o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパ , 6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート , 11 時に黄口 EMI 黒ニッパ La トピックス：1970 年 5 月 27/28 日・10 月 9/10 日パリ・サル・ワグラムでのステレオ録音 , 録音詳細不明 , フランスでは 1971 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・同年 La Voix De Son Maître:2C 069-11301(当装丁) にて初リリース情報：	
商品説明：1966 年パリで奇跡の復活を遂げたピアニスト、ワイセンベルク (1929 年ブルガリア生まれ)。当時バリ o. のシェフを兼任していたカラヤンに見初められ、1970 年パリで初めてチャイコフスキー・Pf 協奏曲 1 番の共演録音を行った。以来ワイセンベルクは殆どカラヤンの専属ピアニストのような状態になるが、プレッシャーの中でよくその期待に応えた。アレクシス・ワイセンベルク (1929- 2012) は、ブルガリア生まれのユダヤ人ピアニスト。苦勞の末、米国に脱出した過去を持つ。その後、1946 年にニューヨークのジュリアード音楽院に入学。サマロフ、ランドフスカ、そしてシュナーベルの指導を受け、卒業した時には、ワイセンベルクは各国から招かれるほど有名になっていた。1947 年にレーヴェントリット国際コンクールで優勝、同年にジョージ・セル指揮のニューヨーク・フィルハーモニックと共演してデビュー。1956 年、彼はパリに移り住み、数年間主要な舞台から基本的に遠ざかり、技術とし	

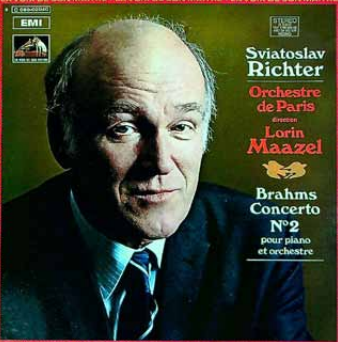
1429-036	4400 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-12598 ステレオ A 8/7
	ブラームス： Pf 協奏曲 1 番 Op.15
	A. ワイセンベルク (pf) C.M. ジュリーニ指揮ロンドン so.
	レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパ ー ,6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開 赤枠両面コート,11 時に黄口 EMI 黒ニッパ ー La トビックス：1972 年 11 月 29-30 日ロンドン・アビー ロードスタジオでのステレオ録音,録音技 師:Michael Gray,プロデュ ーサー:Michel Glotz,英 国 では 1973 年 E.M.I.Records Ltd. Hayes・Middlesex・Englandによりコピーライト 登録・同年 His Master's Voice:ASD 2992(モノ
	キズ情報:A 面 9 時に極小〜小 3 回出る点→7
商品説明:1972 年のジュリーニとのロンドン録音。アレクシス・ワイセンベルク (1929- 2012) は、ブルガリア生まれのユダヤ人ピアニスト。苦勞の末、米国に脱出した過去を持つ。その後、1946 年にニューヨークのジュリアード音楽院に入学。サマロフ、ランドフスカ、そしてシュナーベルの指導を受け、卒業した時には、ワイセンベルクは各国から招かれるほど有名になっていた。1947 年にレーヴェントリット国際コンクールで優勝、同年にジョージ・セル指揮のニューヨーク・フィルハーモニックと共演してデビュー。1956 年、彼はパリに移り住み、数年間は主要な舞台から基本的に遠ざかり、技術とレパートリーの研究に励んだ。この時、彼はこう記している - 「若い頃、私は新しい作品を非常に早く習得し、あまりにも早く演奏しすぎた。10 年後には、私のレパートリー全体が過剰に演奏され、十分に研究されていない状態になっていただろう。50 歳になってもまだ将来有望なピアニスト」 のままでいるのは嫌だった	

1429-037	8800 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître	1435211
デジタル・ステレオ	
S	8
ブラームス： Pf 協奏曲 1 番 Op.15	
A. ワイセンベルク (pf) R. ムーティ指揮フィラデルフィア o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 後期大ニッパー, 3 時に STÉREO Origine MAGN.	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【初入荷の超希少タイトル！】 - 1983 年 2 月 2 日米国フィラデルフィア・Old Met, Philadelphia・でのデジタル録音, 録音技師: John Kurlander(米国側), プロデューサー: John Mordler(英国側), 米国では 1983 年 Angel Records inc. にてコピーライト登録・同年	
キズ情報：	
商品説明： この曲は 1972 年 11 月 C.M. ジュリーニ指揮ロンドン so. とロンドンで初回録音があった。それから 11 年後の 2 回目録音が当盤である。前年に CD が世に出て、LP は発売されたが CD、カセットテープとの 3 種同時発売となった為、LP のプレスは少ない。この時期の LP はよほどのベスト・セラーでない限り、1970 年代プレスの数分の 1 しかないのが実情。弊社でもこの LP は 30 年以上入荷がなかった初入荷盤である。内容からいえば、ジュリーニとの初回録音はジュリーニに押されっぱなしで、思うようなソロが弾けなかった口惜しさがあったはずである。11 年後の 2 回目録音はそのリベンジではないだろうか？今回はロンドンではなく、米国フィラデルフィアでのデジタル録音。指揮者のリッカルド・ムーティ (1941-) は 1980 年に引退を考えていたユージン・オーマンディの推挙により正式にフィラデルフィア管弦楽団の音楽監督に就任していた。録音は 1983 年なのでムーティの基盤も安定した時期だろう。1929	

1429-038	5500 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître	2C 069-03679
ステレオ	
S	8/7
ラヴェル： Pf 協奏曲 ト長調 左手のための Pf 協奏曲	
J.P. コラル (pf) L. マゼール指揮フランス国立 o. F. メルヴィル (フレンチ hr)	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 EMI ニッパー, 6 時に Made in France by □	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【入荷の少ない超希少タイトル！】 - 1979 年 7 月 18-20 日パリでのステレオ録音, 録音技師: Paul Vavasseur, プロデューサー: Eric Macleod, フランスでは 1979 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi によりコピーライト登録・同年 La Voix De Son	
キズ情報：	
商品説明： ラヴェルのピアノ協奏曲は SP 時代からフランス人ピアニストの牙城である。SP 期はマルグリット・ロン。モノラル期はペルルミュテル、ジャン・ドワイアン、ブランカールなどがあり、1960 年代ではフランソワを筆頭にミケランジェリ、ヴァイエネルフ、P. サンカン、モノク・アースなど更にバラエティが豊かになる。しかし 1960 年代までの LP はどれも高額で容易く購入できる金額ではない。ならば 1970 年代はどうだろうか。この時期になるとアルゲリッチなどのフランス勢以外の録音が格段に増えてむしろフランス勢の録音は減ってしまう傾向にある。その中であってジャン＝フィリップ・コラル (1948-) は生粋のフランス人ピアニストとして 1960 年代後期からフランス・メジャーレーベルで活躍した一人。パリ音楽院でピエール・サンカンに師事。'69 年にロン＝ティボー国際コンクールでフォーレ賞、'70 年にジョルジュ・シフラ国際コンクール優勝を獲得した俊英である。特にフォーレのソロ作品全集は逸品で	

1429-039	5500 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître	2C 069-16338
ステレオ・クワドロフォニック	
S	8/7
ラフマニノフ： Pf 協奏曲 2 番 Op.18	
J.P. コラル (pf) M. プラッソン指揮 トゥールーズ・カピートル o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 EMI ニッパー, 2 時に □ SQ, 6 時に黄色文字で	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【入荷の少ない超希少タイトル！】 - 1977 年 6 月フランス・トゥールーズ・la Halle aux Grains de Toulouse・でのステレオ (クワドロ) 録音, 録音技師: Paul Vavasseur, プロデューサー: Eric Macleod, フランスでは 1978 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé	
キズ情報：	
商品説明： コラルと言えばフランス物がまず思い浮かぶ。しかし彼は意外にもラフマニノフが好きだったようで、ソロでもソナタ 2 番、絵画的練習曲の 2 枚を 1972/75 年に残していた。これは M. プラッソンとの初の協奏曲で 1977 年トゥールーズでの録音。やはりコラルのラフマニノフはどうしてもフランス人の気質が端々に見え隠れする。ロシア的ローカリズムはこの人には無縁。この曲もセンス良く、しかも熱血的大迫力で挑んでくる。ラフマニノフは洗練され過ぎては困るという方向きではない。ジャン＝フィリップ・コラル (1948-) は生粋のフランス人ピアニストとして 1960 年代後期からフランスメジャーレーベルで活躍した一人。パリ音楽院でピエール・サンカンに師事。'69 年にロン＝ティボー国際コンクールでフォーレ賞、'70 年にジョルジュ・シフラ国際コンクール優勝を獲得した俊英である。特にフォーレのソロ作品全集は逸品である。サンソン＝フランソワの後継者として誰からも認められるピアニス	

1429-040	8800 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître	2705521
デジタル・ステレオ	
A	8/7
サン・サーンス： Pf 協奏曲 2 番 Op.22 Pf 協奏曲 4 番 Op.44	
J.P. コラル (pf) A. プレヴィン指揮ロイヤル po.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 後期大ニッパー, 3 時に STÉREO Origine MAGN.	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【初入荷の超希少タイトル！】 - 1985 年 11 月 11-12 日ロンドン・アビーロードスタジオでのデジタル録音, 録音技師: Mike Clements, プロデューサー: John Fraser, 英国では 1987 年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同年 His Master's	
キズ情報：	
商品説明： コラルと言えばフランス物がまず思い浮かぶ。これは A. プレヴィンとの共演で 1985 年ロンドンでの録音。1970 年代 La Voix De Son Maître ではチックリニ / ボドとのサン・サーンス : Pf 協奏曲全曲録音があった。コラルは全曲録音ではなく 2/4 番だけの単独デジタル録音。ジャン＝フィリップ・コラル (1948-) は生粋のフランス人ピアニストとして 1960 年代後期からフランスメジャーレーベルで活躍した一人。パリ音楽院でピエール・サンカンに師事。'69 年にロン＝ティボー国際コンクールでフォーレ賞、'70 年にジョルジュ・シフラ国際コンクール優勝を獲得した俊英である。特にフォーレのソロ作品全集は逸品である。サンソン＝フランソワの後継者として誰からも認められるピアニストに成長してきた。Pf 協奏曲録音は少ないコラルだが、この録音は彼の良いところがたくさん出ている良い録音。ロマン的でありながらきびきびとした粒立ちのクリアーなソロは誰の耳も楽しませることだろう。	

1429-041	4400 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02040 ステレオ A 8/7	
ブラームス： Pf 協奏曲 2 番 Op.83	
S. リヒテル (pf) L. マゼール指揮パリ o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパー, 6 時に白字で EMI 下に外周 ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時に緑 EMI 黒ニッパー La トピックス：1969 年 10 月 24-28 日パリ・サル・ワグラムでのステレオ録音, 録音詳細不明, MELODIYA= 仏 EMI との共同制作録音, フランスでは 1970 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi. Paris によりコピーライト登録・同年 La Voix De Son Maître:2C キズ情報：	
商品説明：ブラームス最盛期の代表作であり、難曲としても知られる協奏曲 2 番は、ピアノと管弦楽が対等に扱われ、まさに交響曲を思わせる大曲。この 1969 年、ロリン・マゼールとの共演は、リヒテルの同曲の数ある録音の中で最後のものと思われる。少々ゆったりめのテンポだが、豪快で力強い打鍵、溢れる色彩感。圧倒的な存在感を示すリヒテルにマゼールも負けじと挑みかかる白熱の共演。マゼール / パリ管との珍しい組み合わせ。1969 年リヒテルは長期間の欧州演奏旅行に出た。1 月 22 日ザルツブルグ、バルシャイ指揮モスクワ音楽院管弦楽団とモーツァルトのピアノ協奏曲第 27 番 K.595 を皮切りに、ドイツ～イタリア～ポルトガル～スペイン～フランスと 11 月 3 日までかけた長い遠征であった。途中の 4 月 20 日～5 月 20 日の一か月モスクワに帰ったが、5 月 29 日にはイタリアに入り 6 月 26 日にはフランス・トゥールーズ、7 月 8 日パリへ到着、その足で 9 月 15～17 日ベルリンにてオISTRAF、ロストロ	

1429-042	6600 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02615 ステレオ S 8/7	
グリーグ :Pf 協奏曲 Op.16, シューマン :Pf 協奏曲 Op.54	
S. リヒテル (pf) L.v. マタチッチ指揮 モンテカルロ国立歌劇場 o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパー, 6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時にアズキ EMI 黒ニッパー La トピックス：【初入荷の希少タイトル！】 - 1974 年 11 月 24～30 日モナコ公国・モンテカルロ・Palais Garnier, Monte Carlo・でのステレオ録音, MELODIYA= 仏 EMI との共同制作録音, 録音技師 :Paul Vavasseur, プロデューサー :John Mordler, フランスでは 1975 年 Les Industries キズ情報：	
商品説明：リヒテルの 1974 年は 1 月 1 日モスクワでの演奏会で始まり、4 月 12 日に 2 度目の来日を果たした。6 月 5 日まで日本に滞在し帰国。しばらく休養があったようである。11 月 25 日から 30 日モンテカルロでマタチッチ指揮モンテカルロ国立歌劇場管弦楽団とグリーグとシューマンのピアノ協奏曲を録音 (当録音)。12 月 14 日ワルシャワでロヴィツキとの最後の共演を行って 1974 年が終了した。リヒテルは 1969 年 9 月 15-17 日にベルリンで EMI が録音したベートーヴェン：三重協奏曲でのカラヤンとの共演でカラヤンに嫌気がさし、以降カラヤン、ひいてはベルリン po. との共演を避けていた。その反動で仏 EMI である La Voix De Son Maître の要請は快く引き受けていたようである。マゼール指揮パリ o. とは数回共演していて、マゼールとはロンドンでも録音している。今回の指揮はマタチッチでオケはモンテカルロ国立歌劇場 o. というこれまでにはない EMI 側の陣容である。今回も MELODIYA= 仏 EMI との	

1429-043	5500 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02733 ステレオ・クワドロフォニック A 8/7	
ラヴェル： Pf 協奏曲 ト長調 狂詩曲「ツィガース」 左手のための Pf 協奏曲	
A. チッコリーニ (pf) J. マルティノン指揮パリ o., I. パールマン (vn/ ツィガース)	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパー, 6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時に赤 EMI 黒ニッパー La トピックス：【カラー切手ニッパーは初入荷の希少プレス！】 - 1974 年 3・4・7 月パリでのステレオ / クワドロフォニック録音, 録音技師 :Paul Vavasseur, プロデューサー :René Chailan, 1975 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi によりコピーライト登録・同年 La キズ情報：	
商品説明：アルド・チッコリーニ (1925 - 2015) はイタリア・ナポリ出身のピアニスト。5 歳でピアノを始め、ナポリ音楽院のピアノ科と作曲科を卒業している。その名が広く知られるようになったのは、1949 年にパリで行われたロン＝ティボー国際コンクールのピアノ部門で優勝を遂げてから。世界各地で演奏活動を行うようになり、ヴァイオリンのジャック・ティボーとデュオも結成、室内楽の分野でも活躍した。16 歳のときサン・カルロ劇場にデビューした。1969 年にフランスに帰化し、1970 年から 1983 年までパリ国立高等音楽院のピアノ科の教授として多くの弟子を育て上げている。フランス近代音楽の解釈者ならびに擁護者として国際的に著名であり、サティ、ドビュッシーのピアノ曲全集を録音している。ほかに、アルカンやカステリオン、マスネ、セウラックらの秘曲も録音している。一方でリストの演奏でも名高い。パテ・マルコーニ社や EMI などに 100 点以上の録音を残しており、中でもモーツァ	

1429-044	4400 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-12124 ステレオ S 8/7	
チャイコフスキー： Pf 協奏曲 2 番 Op.44	
S. ケルセンバウム (pf) J. マルティノン指揮フランス国立放送 o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパー, 6 時に白字で Made in France ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時に青 EMI 黒ニッパー La トピックス：【フランス盤は入荷 2 度め希少タイトル！】 - 1972 年パリでのステレオ録音, 録音技師 :Paul Vavasseur, プロデューサー :René Chailan, フランスでは 1972 年 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marconi によりコピーライト登録・同年 La Voix De Son Maître:2C 069- キズ情報：	
商品説明：マルティノンは DECCA 時代から有名なフランスの指揮者だが、'70 年代まで活躍していた。これはフランス国立放送 o. (ORTF) を振ったフランス録音。マルティノンは同じ時期にラヴェルの管弦楽作品全集を録音していて、それはフランスに「おける最初の箱入り全集となった。録音事態はクレイタンスが 1960 年代前期に録音していたが、ひとつの箱にまとまる全集ではなかった。このチャイコの Pf 協 2 番も同じころの録音でケルセンバウムというラテン系女性ピアニストをソロに迎えたパリ録音。Pf 協奏曲 1 番の録音は数多いが何故 Pf 協奏曲 2 番だったの化は不明。2 番はあまり録音されない隠れた曲だが、こうして '70 年代初頭のオリジナル盤で聴いてみると、なかなか優れた曲である。マルティノンのオケが大変よく、改めて、この曲を見直した。シルヴィア・ケルセンバウム (1941- 2026) はアルゼンチンのブエノスアイレスで、オーストリア人の父とイタリア人の母の間に生まれた。8 歳でブエノスアイレス	

1429-045	4950 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02941 ステレオ・クワドロフォニック A 8/7	
ヴィラ・ロボス： ブラジル風バッハ 3 番 幻想曲「モモプレコッセ」	
C. オルティス (pf) V. アシュケナージ指揮 ニュー・フィルハーモニア o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 EMI ニッパー, 2 時に口 SQ, 6 時に黄色文字で	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【初入荷の希少タイトル!】 - 1976 年 9 月・1977 年 2 月ロンドンでのステレオ/クワドロフォニック録音, 録音技師: Christopher Parker / Robert Gooch, プロデューサー: John Willan, 英国では 1978 年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同	
キズ情報:	
商品説明: ヴィラ＝ロボスの「ブラジル風バッハ」は楽器編成や演奏形態の異なる 9 つの楽曲を集成した曲集ないしは組曲で、個々の作品の成立年代も 1930 年から 1945 年までと様々である。現在では訳さずに「バキアーナス・ブラジレイラス」とされることも多い。ここで演奏される第 3 番はピアノと管弦楽のための協奏的作品。B 面のモモプレコッセ (Momoprecoce) は (ブラジルの子供の謝肉祭による幻想曲) の邦題がありピアノと管弦楽のために 1929 年に作曲された楽曲である。ポルトガル語の「モモプレコッセ」とは「おませな子の道化師」といった意味を持つ。自身のピアノ曲集『子供の謝肉祭』を 1 楽章に編曲し管弦楽伴奏付きの幻想曲としたもので、ブラジルの賑やかな子供たちの謝肉祭 (カーニバル) の情景が色彩豊かに描かれている。古くはマグダ・タリアフェロのピアノでヴィラ＝ロボス自身が指揮をした録音が仏 COLUMBIA (FCX 346) にある。また 2 台のピアノのための編曲版もある。ピアノのクリ	

1429-046	4400 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-02614 ステレオ A 7	
ハイドン： Pf 協奏曲 11 番 Hob. XVIII:11 Pf 協奏曲 4 番 Hob. XVIII:4	
A.B. ミケランジェリ (pf) E.d. シュトゥウツ指揮 チューリッヒ室内 o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - カラー切手ニッパー, 6 時に白字で Made in France	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス: 1975 年 1 月 22-24 日スイス・トゥーン (ドイツ語地域)・ヨハネス教会でのステレオ録音, 録音技師: Neville Boyling, プロデューサー: David Mottley, イタリアでは 1975 年 EMI Italiana S.p.A によりコピーライト登録・同年 La Voce Del Padrone: 3C 065-02614 (カラー切手	
キズ情報: B 面 12 時に微かに 19 回出る凸→7	
商品説明: 録音嫌いのミケランジェリは、1971 年頃から DGG 社と専属契約を結び、多くの録音を '81 年頃まで続けた。その為、他レーベルには録音しない?? しかし何故か 1975 年、この録音を EMI に行っている。録音場所はスイス。DGG 社のスター・ピアニストとして、一人占めされるのを VSM 側が打開しようとしたのだろうか? いずれにしても、VSM には同年、シューマンの 1 枚と合計 2 枚のみで終わった。DGG とは少し異なる明るいイタリア的なピアノを聴かせてくれる。彼の貴重な一枚。カラー切手がフランス初出。これはミケランジェリによる 1957 年の有名なラヴェルとラフマニノフの協奏曲を録音して以来 17 年ぶりの EMI 系正規スタジオ録音となった。1970 年代半ばにシューマンやハイドンの諸作品とともにまとまったセッションを行った際の一環として、このハイドンのピアノ協奏曲第 4 番および第 11 番が録音された。ミケランジェリは 1971 年から DGG で積極的に録音を開始したが DGG 録音の大半がソロ	

1429-047	3850 円 (税込)
	
ベルギー La Voix De Son Maître 4C 069-60132 ステレオ・クワドロフォニック S 8/7	
デ・グレーフ： Pf 協奏曲 1 番 グリーグ： Pf 協奏曲 Op.16	
J.C. ヴァンデン・エインデン (pf) P パルトルメ指揮リエージュ o.	
レーベルタイプ：【ベルギーでのオリジナル (フランス製造)】 - カラー切手ニッパー, 12 時に口	
ジャケット：【ベルギーでのオリジナル (La Voix De Son Maître)】 - 三方開赤枠両面コート, 11 時	
トピックス：【初入荷の希少タイトル!】 - 1976 年頃ベルギー・リエージュでのステレオ/クワドロフォニック録音, 録音技師: Gilbert Steurbaut (ベルギー Klankstudio), プロデューサー: Frederik Van Rossum (ベルギーの作曲家), 1977 年 EMI Belgium SA/NV によりコピーラ	
キズ情報:	
商品説明: この録音はベルギーで録音され、フランス Pathé に委託製造し、ベルギーで製造したジャケットに入れベルギーのみ発売した LP である。その為 EMI グループのベルギー発売を示す 4C - で始まる番号が付く。A 面のアルテュール・デグレーフ (1862 - 1940) はベルギー中部のフラームス＝ブラバン州州ル＝ヴァンで生まれたピアニスト、作曲家。ブリュッセル王立音楽院に入学してイグナーツ・モシェレス門下のルイ・ブラッサンにピアノを師事した。17 歳で優等の成績を得て卒業。その後ヴァイマルに行き、フランツ・リストの薫陶を受けて修業時代を終えた。ヴァイマルで 2 年間を過ごした後、演奏会ピアニストとして各地で演奏旅行を行い、成功者としての道のりを歩き始めた。親交を結んだエドヴァルト・グリーグからは「私がこれまで出会った中で一番の私の作品の理解者」と呼ばれ、カミーユ・サン＝サーンスからも支持を得た。リストの高弟として遺した録音は近年になって再発掘され、再評価され	

1429-048	1650 円 (税込)
	
フランス La Voix De Son Maître 2C 069-03693 ステレオ A 8/6	
チャイコフスキー： Pf 協奏曲 1 番 Op.23	
A. カヴリーロフ (pf) R. ムーティ指揮フィルハーモニア o.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 EMI ニッパー, 2 時 STÉREO Origine Stereo, 6 時	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパー La	
トピックス：【初入荷の超希少タイトル!】 - 1979 年 7 月 4-5 日ロンドンでのステレオ録音, 録音技師: Neville Boyling, プロデューサー: John Willan, 英国では 1980 年 E.M.I. Records Ltd. Hayes・Middlesex・England によりコピーライト登録・同年 His Master's Voice: ASD 3818 (後期	
キズ情報: A 面 10 時に小～極小 19 回出る面スレ→6	
商品説明: アンドレイ・ガブリーロフ (1955 年モスクワ生まれ) は、1974 年チャイコフスキー・コンクールで弱冠 19 歳の若さで優勝し、世界から注目を浴びたピアニスト。それに EMI が直ぐ様目を付け、契約。リヒテル以来の大物と踏んだようだ。1961 年にモスクワの中央音楽学校でアレクサンドル・ゴリデンヴェイゼルの学生であったタチアナ・エフゲニエヴナ・ケストネルについて学ぶ。モスクワ音楽院ではレフ・ナウモフに師事し、ピアノの学習を続ける。1974 年、19 歳でチャイコフスキー国際コンクールで優勝。同年、ザルツブルク音楽祭でスヴァトスラフ・リヒテルの代理を務めた。優勝が彼の人生を変えた。早くから西側レーベルに録音。1990 年以降は DGG に移籍した。才能がキラキラと輝く瞬間が垣間見える。2001 年以降は家族とともにスイスのルツェルンに移住している。ガブリーロフは亡命することなく国外に滞在する許可を与えられた第一号の旧ソ連の芸術家になった。1985 年カーネギーホールでの	

1429-049	4400 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2700201 デジタル・ステレオ A: 裏面に切り込み 8
ラフマニノフ: Pf 協奏曲 3 番 Op.30	
D. スグロス (pf) Y. シモノフ指揮ベルリン po.	
レーベルタイプ:【フランスでのオリジナル】-後期大ニッパ, 3 時に STÉREO Origine MAGN. ジャケット:【フランスでのオリジナル】-見開赤枠両面コート, 11 時に赤口 EMI 黒ニッパ La トピックス:【初入荷の超希少タイトル!】-1983 年 11 月ベルリン・フィルハーモニア・ザールでのデジタル録音, 録音技師: Michael Sheady, プロデューサー: John Fraser, ドイツでは EMI Records GmbH Köln によりコピーライト登録・同年 ELECTROLA:1C 067 27 0020 1(後期大ニッパ) キズ情報:	
商品説明:ディミトリ・スグロス (Δημήτρης Σγουρός) (1969-) はギリシャ・アテネ生まれのピアニスト。10 歳でアテネ国立音楽院のピアノ科教授となった。7 歳でリサイタル・デビュー。12 歳のときにロストロポーヴィチ指揮でラフマニノフの『ピアノ協奏曲第 3 番』でカーネギー・ホールデビュー。13 歳でラフマニノフの『ピアノ協奏曲第 3 番』を弾き、英国ロイヤル・フェスティヴァルホールデビュー (ロストロポーヴィチ指揮 / ロンドン po.)。翌日のザ・タイムズ紙に、「大成功を博した。大成功を博したばかりではなく、静かに大成功をおさめた。あれは最大の脅威だった」と論評された。リストの『超絶技巧練習曲』(抜粋)と『メフィスト・ワルツ 1 番』を 14 歳の時に録音。また 45 曲のピアノ・コンチェルトをレパートリーにしていたという。アルトゥール・ルービンシュタインをして、“私を含めたすべてのピアニストの中で最も優れている”と言わしめ、愛用の金時計をプレゼントされている。1983 年にベルリン・フル	

1429-050	16500 円 (税込)
	ベルギー His Master's Voice 4C 161-95897-900 ステレオ A 8/7 箱入り 4 枚組
ベルギーの Vn 楽派 Vol.1/ ヴュータン, イザイ, レナール ベリオ, プルーム, ド・クルス	
R. ヴェルテン, M. デュボ, C.v. ネステ, M. ラスキ (vn) E. ドヌー指揮ベルギー放送室内 o.	
レーベルタイプ:【ベルギーでのオリジナル (フランス製造)】-赤 / 白ニッパ, 12 時に His ジャケット:【ベルギーでのオリジナル】-外周 5 面黒クロス紙表コート箱, 11 時に黒口 EMI 黒ニッパ トピックス:【入荷 2 度目の希少タイトル!】-1974 年又はそれ以前のベルギーでのステレオ録音, 録音技師:Léo Labie, プロデューサー:Willy De Cart, 1974 年 EMI Belgium SA/NV によりコピーライト登録・同年 EMI Belgium(His Master's Voice):4C 161-95897-900(当装丁)にて初リリース キズ情報:	
商品説明:1974 年頃 4 枚組の箱だけで発売された「ベルギーの Vn 楽派-1」、すぐに「ベルギーの Vn 楽派-2」も発売された。4 枚の LP には全て Vn と管弦楽のための作品、あるいは編曲作品が収録。ほとんどの曲がこれまで録音されたことがない、又はかなり少ないベルギー作品である。また 1 枚ごとにヴァイオリン奏者を変えていて、1 枚目がルドルフ・ヴェルテン、2 枚目がマルセル・デュボ、3 枚目がカルロ・ファン・ネステ、4 枚目がモーリス・ラスキンの 4 人。この箱に収録された曲はイザイ、ヴュータン、ド・クルス、ベリオ。これらは他の LP では聴けないものばかりである。録音は 1970 年代初期と思われ、音質は良くプレスはフランスのパテ社に委託している。Vn 好きならばこの 4 枚で多くの初めてお目にかかる演奏を聴くことになる。単売はなく、箱が 2 つ、計 8 枚の未知の演奏が一度にやってくる滅多にない機会! 入荷の少ない希少盤である!	

1429-051	9900 円 (税込)
	ベルギー His Master's Voice 4C 161-96986-9 ステレオ A 7/6 箱入り 4 枚組
ベルギーの Vn 楽派 Vol.2/ ベリオ, ド・クルス, ロンケ, ド・ベック, ヴュータン	
E. ヴォルカート, C. クアタッカ, G. オクトース, C ジョンゲン (vn) E. ドヌー指揮ベルギー放送室内 o.	
レーベルタイプ:【ベルギーでのオリジナル (フランス製造)】-赤 / 白ニッパ, 12 時に His ジャケット:【ベルギーでのオリジナル】-外周 5 面黒クロス紙表コート箱, 11 時に黒口 EMI 黒ニッパ トピックス:【初入荷の希少タイトル!】-1974 年又はそれ以前のベルギーでのステレオ録音, 録音技師:Léo Labie, プロデューサー:Willy De Cart, 1974 年 EMI Belgium SA/NV によりコピーライト登録・同年 EMI Belgium(His Master's Voice):4C 161-96986-9(当装丁)にて初リリース キズ情報:第 2 面 3 時に極小 5 回出る溝スレ, 第 8 面 1 時に微かに~極小~小 25 回で面スレ→6	
商品説明:1974 年頃 4 枚組の箱だけで発売された「ベルギーの Vn 楽派-2」、同年すぐ前(1)ベルギーの Vn 楽派-1) も発売された。4 枚の LP には全て Vn と管弦楽のための作品、あるいは編曲作品が収録。ほとんどの曲がこれまで録音されたことがない、又はかなり少ないベルギー作品である。また 1 枚ごとにヴァイオリン奏者を変えていて、1 枚目がエディット・ヴォルカート、2 枚目がクレメンスクアタッカー、3 枚目がジョルジュ・オクトース、4 枚目がシャルル・ジョンゲンの 4 人。エディット・ヴォルカート (1949-1992) はベルギーの名教師 Carlo Van Neste に師事。1971 年エリザベート王妃国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門で第 5 位入賞。1967 年マリア・カナルス国際音楽コンクールで第 1 位。モーツァルト国際コンクールでも優勝した。17 世紀末の楽器、Maggini 派のヴァイオリン (おそらく Andrea Guarneri 製) を用いていた。ブリュッセル王立音楽院で教鞭を執る。クレメンスクアタッカー (1932-2003) は J. デルーフ、	

1429-052	8800 円 (税込)
	フランス La Voix De Son Maître 2C 069-12506 ~ ステレオ A 8/7 バラ 2 枚セット
ショパン: Pf 協奏曲 1 番 Op.11 Pf 協奏曲 2 番 Op.21 2Pf のためのロンド Op.73	
S. フランソワ (pf) L. フレモー指揮モンテカルロ歌劇場 o. P. パルビゼ (pf/Op.73)	
レーベルタイプ:【フランスでの再版】-カラー切手ニッパ×2, 6 時に白字で Made in France by ジャケット:【フランスでの再版】-三方開赤枠両面コート×2, 11 時に焦げ茶 / 赤口 EMI 黒ニッパ トピックス:1965 年 7 月 13-15 日モンテカルロ Salle de L'Alcazar でのステレオ録音, 録音技師:Paul Vavasseur, プロデューサー:Eric Macleod, 1967 年 頃 Les Industries Musicales Et Electriques Pathé Marcon. Paris によりコピーライト登録・同年 1 番は仏 COLUMBIA:CCA キズ情報:	
商品説明:フランソワのショパン: Pf 協奏曲 1 番 / 2 番は 2 回録音があり、かなり時期がずれる。初回は 1954 年頃で G. ツィピーヌ指揮パリ音楽院 o. で 10" で初出。因みに Pf 協奏曲 2 番は、P. クレツキ指揮フランス国立放送 o. とやはりモノラル録音がある。そして 2 番の 2 回目録音も、L. フレモー指揮モンテカルロ国立歌劇場 o. と同年同場所でステレオで録音され、同じ時期に同じオケと 1/2 番を録音した。フレモーとの Pf 協奏曲 1 番はまだ COLUMBIA レーベルで CCA 1066 で 2 番は CVB 1067 で発売された。この番号は 1 年間 (1 回刷り?) だけの発売らしく非常にプレスが少ない希少盤で今出ても 5 万円はするであろう超高額 LP である。すぐ後 CVB 1066 という番号に変わる。CVB 1066 の中でも最低 3 種のレーベルが存在し、複雑である。この録音はフランソワ 41 歳の時の収録で、旧モノラルの整った演奏に比べれば、自由奔放なフランソワ節が強く出た、フランソワ好きには良い録音だろう。閃きや情熱に満ちた二	

1429-053n	5500 円（税込）
	英国 DECCA LXT 2517
	モノラル
	B: 一部剥がれ （補修済）
	7
ブラームス： 交響曲 4 番 Op.98	
J. クリップス指揮ロンドン so.	
レーベルタイプ： 【英国でのオリジナル】－金ツヤ内溝，フラット重量，マトリクス：ARL 332-3B/ ジャケット： 【英国でのオリジナル・タイプ】－初期共通デザイン・折返両面紙ペラ，⒫Ⓒなし，ジャ トピックス： 1950 年 4 月ロンドンでのモノラル録音，録音詳細不明，英国では 1950 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 DECCA:LXT 2517(当装丁・ジャケット裏年号・50(81949 6.50)) にて初リリース，これは 1950 年製造のオリジナル盤が 1954 年 1 月製 キズ情報：	
商品説明： 当時 DECCA にはミスター・ウィーンとクレメンス・クラウスがいたが、彼はウィーンを出ることが無かった。そんな DECCA の窮状を救ったのがヨーゼフ・クリップス。彼は早速 '50～'54 年にロンドン so. の首席指揮者に就任、DECCA にウィーン直伝の録音を多く残した。1950 年にはロンドン so. の首席指揮者に就任、ロンドン so. を強力なオケにしたのはクリップスに他ならない。ヨーゼフ・クリップス (1902 - 1974) はウィーン生まれの指揮者。弟のハインリヒ・クリップスも指揮者として知られる。1933 年にウィーン国立歌劇場の常任指揮者に就任、また 1935 年にウィーン国立音楽大学の教授に就任した。1938 年 3 月のオーストリア併合の後、オーストリアを去ることを強いられ、ベオグラードに移り、ユーゴスラビアが第二次世界大戦に一時期巻き込まれるまで、地元のオーケストラで働いた。大戦終期には食品工場で働いていたが、「こっそりオペラの稽古をつつたり、プロンプター席に入って	

1429-054	4400 円（税込）
	英国 DECCA LXT 2502
	モノラル
	A
	6: 鑑賞可能なレベル
ストラヴィンスキー： バレエ音楽「ペトルーシュカ」	
E. アンセルメ指揮スイス・ロマンド o.	
レーベルタイプ： 【英国でのオリジナル】－金ツヤ内溝，12 時に Made in England，フラット重量， ジャケット： 【英国でのオリジナル】－厚紙ポート，⒫Ⓒなし，ジャケ裏年号：6.50 トピックス： 1949 年 11 月 29/30 日スイス・ジュネーヴ・The Victoria Hall でのモノラル録音，録音詳細不明，英国では 1950 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年英 DECCA:LXT 2502(金ツヤ内溝レーベル・ボードジャケット入り) で初リリースと思われる キズ情報： A 面 3 時に極小 14 回出るスレ，7 時に極小 2+4 回出る点，9 時に小 2 回出る点，B 面 4 時に極小～小 6+5+10 回出る面スレ，6 時に極小 8	
商品説明： 1950 年、DECCA 社 LP 第 2 号の記念すべきアンセルメ初 LP 録音。因みに、第 1 号 LXT 2501 は、ミュンヒンガーのブランデン 4/6 番だった。再版が多いが、これは初期の金文字プレス。DECCA LXT の音の迫力にまず圧倒される。1950 年で、これだけの音を出していたとは。総合的に見て、1960 年～80 年代のステレオに完全に勝てる HiFi 度である。その鮮烈な音に、耳が痛い程。LXT の凄さを改めて思い知った一枚。アンセルメは初めからこうだった。エルネスト・アンセルメ (1883-1969) に関してはもはや何も語ることがないほど完璧な指揮者である。ローザンヌ大学で数学を学び、数学教師を務めながら音楽を学ぶ。1911 年にモントルー管の指揮者となり、1915 年からディアギレフのロシア・バレエ団の指揮者となる。1918 年にスイス・ロマンド管弦楽団を創設。1968 年に引退するまで同楽団で指揮を続け、世界的な楽団に育て上げた。近・現代の曲には定評があり、フランス、イタリアなどのラテン系	

1429-055	7700 円（税込）
	英国 DECCA LXT 2566
	モノラル
	A
	7: 奇跡の盤質
ブラームス： Vn 協奏曲 Op.77	
O. レナルディ (vn) C. ミュンシュ指揮コンサートヘボウ o.	
レーベルタイプ： 【英国でのオリジナル】－金内溝ツヤ，12 時に Made in England，フラット重量， ジャケット： 【英国でのオリジナル】－折返両面紙ペラ，⒫Ⓒなし，ジャケ裏年号：なし（英国最古） トピックス： 1948 年 9 月 13-14 日アムステルダムでの SP/モノラル録音，録音技師：Kenneth Wilkinson，プロデューサー：Victor Olof，編集/カッティングマスター：Guy Fletcher/ Ron Mason，英国では 1949 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録 キズ情報： B 面 2 時に小 1 回出る溝スレ→7	
商品説明： 1948 年録音、1951 年発売の LP。70 年以上が経過し、初出は状態の良いものが少ない。レナルディは 1920 年ウィーン生まれ。1937 年に米国へ移住し、軍役も経験した。録音は DECCA に数点、REMINGTON に 1～2 点を数えるのみで、この録音の僅か 2 年後の 1953 年に、自動車事故で命を落とした。33 歳だった。まったく惜しい奏者を亡くした。わずか 3 年程度の間に彼が残した録音は本当に貴重。ヴィルトーゾの見本のような、デリカシーの魂を持った偉大なソリストだった。彼の代表作となったブラームス。オシー・レナルディ (1920 - 1953) はウィーン生まれのヴァイオリニスト。5 歳の頃からオスカル・レイスにヴァイオリンを学び、ニューヨークにいたテオドル・パシュカスの薫陶を受けた。1933 年にウィーンのコメディ・ショーの出し物として初舞台を踏み、オッシ・レナルディ (Ossi Renardy) の芸名を得た。ヨーロッパ各地で演奏してヴァイオリニストとしての名声を確立した。1937 年にはナチスの台	

1429-056n	6600 円（税込）
	スペイン DECCA LXT 2574
	モノラル
	B: スレ多い
	7
バルトーク： Vn 協奏曲第 2 番 Sz.112	
M. ロスタル (vn) M. サージェント指揮ロンドン so.	
レーベルタイプ： 【スペインでのオリジナル】－金ツヤ中溝，12 時に Fabricado en España (外周 ジャケット： 【スペインでのオリジナル】－上開左右両面紙ペラ，⒫Ⓒなし，ジャケ裏年号：なし（スト トピックス： 【入荷の少ない希少タイトル！】-1951 年ロンドンでのモノラル録音，録音詳細不明，英国では 1951 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 5 月 DECCA:LXT 2574(金ツヤ内溝レーベル・フラット盤・水色系共通デザイン折返両面紙ペラ) にて キズ情報： A 面 6 時に微かに数回出るスレ→7，B 面 1 時に無音シミ	
商品説明： バルトークのヴァイオリン協奏曲に関しては一つ注意が必要になる。以前はバルトークのヴァイオリン協奏曲は 1 曲だけであり、1 番/2 番という番号はなかった。生前、バルトークは 1938 年に完成された 1 曲だけとされていたからである。バルトークの死後 10 年近くが過ぎ去った 1956 年に一人の女流ヴァイオリニストのシュティフ・ガイエルがこの世を去り、彼女の遺品を整理している過程でバルトークから彼女に贈られたヴァイオリン協奏曲の草稿が発見された。バルトークは彼女に心を寄せており、このヴァイオリン協奏曲を献呈していた事実が確認された。このヴァイオリン協奏曲は 1907 年に着手され、翌 1908 年に完成。草稿譜はシュティフ・ガイエルに献呈する記述があったらしい。結局ガイエルは演奏することなく楽譜を封印したため亡くなるまで知られることがないままであった。バルトークは第 1 楽章を改作して『2 つの肖像』の第 1 曲とした。再発見されヴァイオリン協奏曲のコピー	

1429-057	6600 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 2575
	モノラル
	A
	7
シベリウス： 弦楽四重奏曲 4 番 Op.56「親愛なる声」	
グリラー Qt.： S. グリラー、J. オプライエン (vn) P. パートン (va) C. ハンプトン (vc)	
レーベルタイプ：【英国でのオリジナル】 - 金ツヤ内溝,12時にMade in England(ラウンド外周), ジャケット：【英国でのオリジナル】 - 灰系共通デザイン・折返両面紙ペラ, ㊄㊄なし, ジャケ裏年 トピックス：1950 年 10 月 25 日ロンドンでのモノラル録音, 録音詳細不明, 英国では 1951 年年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 DECCA:LXT 2575(当装丁)にて初リリース, これは英国での初年度リリース分オリジナル, オリジナルの入荷は少ない, 演 キズ情報：	
商品説明：LXT の中でも特に珍しい。今でもあまり演奏されない曲目を、'50 年代初頭に録音した意義は大きい。シベリウスは弦楽四重奏曲を何曲か作曲しているが、特にこの Op.56 は名曲。北欧の寂しげな情感が全体を支配する。ベートーヴェン後期に通じるような哲学性を感じる曲で、グリラー Qt. はその哲学性を当時としてはよく表現している。モーツァルト等の録音では今ひとつだったが、この曲にはぴったり合っている。状態の良いものは殆ど入荷しない。ジャン・シベリウス (Jean Sibelius, 1865 - 1957) は 7 つの交響曲や Vn 協奏曲で知られるフィンランドの作曲家。あまり知られていないがシベリウスは生涯に 4 曲の弦楽四重奏曲を書いている。1～3 番は今でもほとんど演奏されることはない、4 番 Op.56「親愛なる声」だけが時折録音されるのが実情。この第 4 番は最初の 3 つの作品とは異なり、この作品は成熟した作品であり、深刻な雰囲気と、過度に厳しいものではないが集中した性格を持つ	

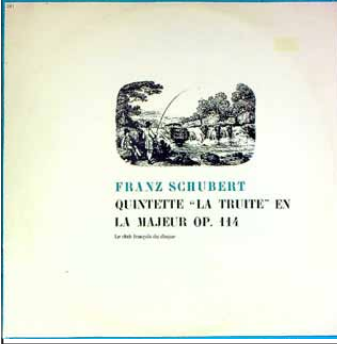
1429-058n	3850 円 (税込)
	英国 DECCA LXT 2595
	モノラル
	A
	7
ラフマニノフ： Pf 協奏曲 2 番 Op.18	
J. カッチェン (pf) A. フィストウラーリ指揮ロンドン新 so.	
レーベルタイプ：【英国での第 3 版】 - 銀ツヤ外溝,12時にMade in England(ラウンド外周), フ ジャケット：【英国での第 2 版】 - ラウンド折返表コートペラ "aka scalloped" (ホタテ貝の意味), トピックス：1951 年 4 月 11-12 日ロンドンでのモノラル録音, 録音詳細不明, 1951 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 DECCA から LXT 2595(金ツヤ内溝レーベル・フラット盤・共通デザイン・裏年号 51) にて初リリース→ 1953 年頃金ツヤ外溝レー キズ情報：	
商品説明：1951 年初回モノラル録音。骨太のオケで始まる冒頭から独特の空気が立ち込め、ラフマニノフらしい雰囲気を作られる。モノラルらしい、ずっしりとした非常に良い音だ。カッチェンは少し憂いを含みつつ、優しく丁寧に弾いてゆく。ラフマニノフ Pf 協奏曲の理想的な姿があるような気がする。こんなにも良い録音がある。カッチェンは DECCA のプロデューサー、カルショウに若くして認められた天才型ピアニスト。当然モノラル時代にこそ、彼の閃きにも似たパッションが味わえる。1958 年モノラル / ステレオで G. ショルティ指揮ロンドン so. との 2 回目録音が有名だが、ソロはこの初回録音がより味わい深い。ジュリアス・カッチェン (1926 - 1969) は米国生まれのピアニストである。ユネスコ国際フェスティバルにアメリカ合衆国代表として出席、フランス国立放送管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲「皇帝」を共演した。1947 年の春にヨーロッパ各地を廻り、ローマ、ヴェネツィア、ナポリ、パリ、ロンドン、ザル	

1429-059	22000 円 (税込)
	フランス DECCA LXT 2528
	モノラル
	A
	7
オペラ歌曲集 / グノー、オッフェンバック プロッホ、ロッシーニ シャルパンティエ、ビゼー	
J. ミシヨー (s)/ R. デゾルミエール指揮パリ音楽院 o./ M. マシソン指揮ロンドン so.	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 金ツヤ外溝,12時にMade in France,フラット重量, ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 折返両面紙ペラ, ㊄㊄なし, ジャケ裏年号：なし (フラ トピックス：1947 年 /1948 年パリとロンドン (ロッシーニとビゼー) での SP 録音, 英国では 1951 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年英 DECCA:LXT 2528(金ツヤ内溝レーベル・フラット盤・共通デザイン・裏年号 51) にて初リリース, フランスでは キズ情報：B 面 4 時に微かに 3 回出る点→7	
商品説明：ジャンヌ・ミシヨー (1914-1976) はフランスを代表するリリック・ソプラノとして活躍したオペラ歌手である。わずか 21 歳で、アンセルメによりドビュッシーのオペラでメリザンド役に選ばれた。その活躍を見た、モントゥーやクライバーに招聘され国際的な名声を得た。戦後になると活動の場を世界の舞台に求め、スカラ座やコヴェントガーデン、サンフランシスコ歌劇場、シカゴ・オペラなどで歌った。とりわけ 18 世紀のフランス・バロック作品や、ラヴェル、ドビュッシーは独壇場であった。ミシヨーの声は一度聴いたら忘れない程の可憐で澄んだ声質。通常のオペラ歌手のような強さだけでなく、弱さめ的確に表現できる天性のものを持っていた。日本でも人気は高い。LP の内容はミシヨーの魅力が存分に味わえる 1947 年・1948 年パリとロンドンでの SP 音源の復刻 LP である。復刻は 1951 年頃なので音質は通常のモノラル LP と変わらない。	

1429-060	8800 円 (税込)
	ドイツ DECCA LXT 2586
	モノラル
	A
	7:B 面に 販売店シール
ブラームス： 交響曲 2 番 Op.73	
W. フルトヴェングラー指揮 ロンドン po.	
レーベルタイプ：【ドイツでのオリジナル】 - 橙 / 金紋章ツヤ内溝, フラット重量, マトリクス :ARL ジャケット：【ドイツでのオリジナル】 - 初期共通デザイン・見開中入裏 3 方折返, ㊄㊄なし, ジャ トピックス：1948 年 3 月 22/23/25 日ロンドン・キングズウェイ・ホールでの SP 録音, 録音詳細不明, 英国では 1948 年 DECCA の SP:K/AK.1875-1879/(12" × 5) にて初リリース→ 1951 年 The Decca Record Company Limited. London によりコピーライト登録・同年 LP 化され DECCA:LXT 2586(金 キズ情報：	
商品説明：フルトヴェングラーは、ブラームスの 2 番を 1945 年、1948 年、1952 年に正規録音しているが、メジャーから初期プレスが出ているのはこの 1948 年 3 月ロンドン po. との録音だけである。ロンドン po. を振る為、DECCA から出ている。1940 年代の録音なのでさすがにレンジは狭いが、当時の空気はしっかりと詰まっていて、緊張した異様な雰囲気が醸し出される。こういう録音は、実音部と無音部が同等にバランスしていて、再版で無音部が欠落すると意味がない。フルトヴェングラーが戦後初めて単身で訪英した 1948 年 3 月、英デッカによってロンドン・フィルとのブラームスの交響曲第 2 番が収録された。このセッションでは、フルトヴェングラーが視界に入る複数のマイクロフォンを撤去するように要求した為、英デッカとしては決して満足のゆく結果を得られなかったと言われている。フルトヴェングラーはマイクを 1 本しか立たせなかったらしい。しかしすぐさま英国で発売された SP の音質は大変良いらしい。	

1429-061	5500 円 (税込)
	
フランス RCA	
430 568	
モノラル	
A	
7	
グリーグ： Vn ソナタ 3 番 Op.45 シューベルト： Vn ソナタ D.574「グラン・デュオ」 F. クライスラー (vn) S. ラフマニノフ (pf)	
レーベルタイプ：【フランスでの LP のオリジナル】 - 黒 / 銀 RCA Victor 狭内溝，外周 5mm にサーク	
ジャケット：【フランスでの LP のオリジナル】 - 緑系イラスト顔デザイン・折返表コートペラ，1 時	
トピックス【入荷 2 度目の希少タイトル！】- グリーグ：1928 年 9 月 14-15 日 ベルリン・Electrola Studios での SP 録音，シューベルト：1928 年 12 月 20/21 日 ニューヨーク・ビクター・スタジオ (Victor Studios, New York City) での SP 録音，米国では RCA から SP がそれぞれ発売された	
キズ情報：	
商品説明：1928 年、シューベルトはニューヨーク、グリーグはベルリンでの SP 録音。ヴァイオリニストのフリッツ・クライスラーと、ピアニストのセルゲイ・ラフマニノフによる伝説的な共演録音である。二人は非常に親しい友人であり、さらなる共演録音（例えば、クライスラーの自作曲や他のソナタなど）の計画もあったと言われているが、スケジュールの都合やラフマニノフの多忙により、1928 年のセッション以降、新たな共演録音が実現することはなかった為、これが唯一の共演となった。ラフマニノフはクライスラー作品を自らピアノ独奏用に編曲し、少なくとも 2 曲録音している。「愛の悲しみ」(Liebesleid) を 1921 年、「愛の喜び」(Liebesfreud) を 1925 年、1942 年に録音している。クライスラーもまた、ラフマニノフの楽曲をヴァイオリン用に編曲している。「祈り」(Preghiera)：ラフマニノフのピアノ協奏曲第 2 番第 2 楽章をヴァイオリンとピアノのために編曲したもの。「ひなぎく」(Daisies)：ラフマニノフの	

1429-062	7700 円 (税込)
	
フランス RCA	
RL 10487	
ステレオ	
A	
8/7	
シューベルト：アルペッジョーネ・ソナタ マレ：ラ・フォリア ロカテッリ：Vc ソナタ	
M. ジャンドロン (vc) 井上直幸 (pf)	
レーベルタイプ：【フランスでのオリジナル】 - 赤 / 黒 Red Seal 逆 内 溝，8 時 に Made in	
ジャケット：【フランスでのオリジナル】 - 見開両面半ツヤ，11 時に RCA Red Seal，(P) 1981 ©なし，	
トピックス：【入荷 2 度目の希少タイトル！】-1975 年 4 月東京にて日本ビクター・スタジオでのステレオ録音，1981 年日本ビクター・エンタテインメントによりコピーライト登録・同年日本ビクター：SRA 2999 にて初リリース，フランスでは 1981 年仏 RCA:RL 10487(当装丁) にて初リリース，これは	
キズ情報：	
商品説明：1975 年 4 月東京で録音され日本 VICTOR:SRA 2999 で発売された日本録音のフランス発売。例によってピアノ伴奏は日本人の井上直幸。Vc のモーリス・ジャンドロンは 1920 年仏ニース生まれ、パリ音楽院でカザルスに師事。実に録音歴の長い人で '50 年代デュクレテ・トムソンに入れた録音は超人的技巧と音色だった。これは日本録音特有のエコー分が鼻に付くが、黒子に徹したピアノから浮き出すような彼の演奏は感動的。雄大なスケールで鳴らすアルペジョーネは一人オケのようでもある。ジャンドロンは 1972 年にも来日しており、その時には 11 月 13 日、東京、国際基督教大学教会、11 月 14 日、埼玉、川口市民会館でピアノ：岩崎 淑の伴奏でフォーレなどを録音している。それはジャンドロンの 2 回目の来日だった。したがって 1975 年は 3 回目の来日と思われる。来日のたびに録音することはおそらく恒例行事となっていたと思われる。ジャンドロンはレコード録音に恵まれたとは言い難いチェロ	

1429-063	13200 円 (税込)
	
フランス Le Club Français Du Disque	
381	
モノラル	
A	
7	
シューベルト： 五重奏曲 Op.114「鱒」	
J. ユボー (pf) R. ベネデッティ (vn) P. ラデュイ (va) A. ナヴァラ (vc) G. ロジュロ (cb)	
レーベルタイプ：【フランスでのモノラル・オリジナル】- 緑白 / 黒 2 重内溝，ブルーウガード厚手，	
ジャケット：【フランスでのモノラル・オリジナル】 - 青枠両面紙ペラ，リブレットのコピー付き，(P)©	
トピックス：【超希少タイトル！】-1965 年頃のパリでのモノラル / ステレオ録音，1966 年頃 Le Club Français Du Livre によりコピーライト登録・同年 Le Club Français Du Disque からモノラル：381(当装丁) にて初リリース，同年ステレオ：381(緑白 / 黒浅内溝・白字 STÉRÉ ロゴレーベ	
キズ情報：A 面 9 時に微かに低く数回出る凸，B 面 3 時に無音凸	
商品説明：1965 年録音のクリュブ・フランセのオリジナル録音のシューベルト：「鱒」。フランスを代表するような凄いメンバーが並ぶ。オリジナル録音なので欧州では別のレーベルで聴くことができない。シューベルトの「鱒」には、過度なロマンティシズムに偏ることのない音楽の簡潔さ、人間らしい優しさやメランコリーに富んだ彼の音楽の持ち味が特に際立って示されているのは周知の通り。この録音は、通常よりゆったりめのテンポで穏やかさが心地いい。風そよぐ森の中を散歩しているような気分になてくれる。「鱒」のコレクシヨンの中に是非この一枚も。今回はモノラル盤だが、それでも超が付く希少盤である。何よりドイツ系ロマン派作品をほとんど感じさせない、爽やかなロマンチズムが漂う優雅な演奏に驚かれるだろう。中でもヴァイオリンのベネデッティの LP 録音が聴けるだけでも大変な価値がある。モノラル / ステレオ問わず大変貴重な LP であることは確かである。	

1429-064	13200 円 (税込)
	
フランス Club National du Disque	
CNDS 75	
ステレオ	
A	
7	
ドビュッシー： 弦楽四重奏曲 Op.10 ラヴェル： 弦楽四重奏曲 レーヴェンゲート Qt.	
レーベルタイプ：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 黄 / 銀段付，ブルーウガード厚手，スタ	
ジャケット：【フランスでのステレオ・オリジナル】 - 折返表コートペラ，モノラル・ジャケットの 5 時	
トピックス：1959 年パリでのモノラル / ステレオ録音と思われるが 100% ではない，録音詳細不明，計 3 回録音の 2 回目録音と思われるが 100% ではない，3 回目は 1962 年 VOX と思われる，これは 2 回目の Club National de Disques のオリジナル録音と思われる，モノラルが 1960 年頃 CND	
キズ情報：B 面 7 時に微かに 10 回程低く出る凸，11 時冒頭に無音軽スレあり	
商品説明：名盤の一つとして親しまれている。1962 年の米 VOX 録音との説もあるが、これは初回 DGG のモノラル録音と VOX 録音との間の 1959 年頃のモノラル / ステレオのパリ録音であると思われる。但しこれは一説であり 100% ではないので注意されたい。DGG 録音はいまひとつ冴えない印象だったが、この録音はレーヴェンゲート Qt. の本領発揮を思わせる痛快な演奏である。名演と評判のバルナン Qt. の次にくるグレードと信じる。さすがに 1950 年代中期までの演奏には敵わないものの、濃密で求心力が高く弦の音が艶やかでテンションが張った音が出ている。1960 年代に入るといかにレーヴェンゲート Qt. といえども軽い音になってしまう。名団体といえども時代から逃れることはできない。比較的低予算で味わえる最高レベルの演奏だろう。プレスもパテプレスなので音は良い。音は強く、安価な装置でも凄い音が飛び出してくる。非常に良い録音。	

No. 1429 REG [欧州新着特価品] 一覧

(直輸入LPの為、すべて未洗浄品。洗浄を希望する場合は注文時に御連絡ください。)

商品コード	レーベル	レコード番号	商品名	販売価格 (税込)	M/S	評価
REG-4889	仏CALLIOPE	CAL 1816	R.ダロー(ob)F.ボネ(pf) / フランス現代Ob作品集/ オアナ:「ヌーム」, ミヨー:ソナチネ, ミハロヴィチ:「メロペイア(ソナチネ)」	¥1,100	GU	A7
REG-4890t	蘭DGG	429 232 1	G.セルシエル(gt)オルフェウス室内o. / ロドリーゴ:アランフェス協奏曲, ある貴紳のための幻想曲, ヴィラ=ロボス:Gt協奏曲	¥2,200	DS	A8/7
REG-4891t	独DGG	91 323 6	G.クレームエル(vn)L.マゼール指揮ベルリンpo. / チャイコフスキー:Vn協奏曲Op.35, 「憂鬱なセレナード」Op.26	¥880	DS	A8/6
REG-4892	独CBS	S 76707	M.ホーン(ms)L.バーンスタイン指揮フランス国立o.(ラヴェル)/ニューヨークpo.(ファリヤ) / ラヴェル:シェヘラザード, ファリヤ:ファンファーレ, 恋は魔術師	¥2,200	S	A8/7
REG-4893	仏CBS	51086	R.トゥルアール(pf) / 「リスト・リサイタルVol.2」Pfソナタ, 葬送, 伝説(2曲)	¥1,100	M	S7/6
REG-4894	仏VALOIS	MB 345	M.シャピエイ(org) / バッハ:Org作品全集Vol.5/ 前奏曲とフーガ「ドリアン旋法」B.538, 前奏曲とフーガB.539/541/543/546	¥1,100	S	A8/7
REG-4895	仏DECCA	591224	G.シオルティ指揮ロンドンpo. / ハイドン:交響曲96番「奇跡」, 101番「時計」	¥1,100	DS	A8/6
REG-4896	仏DECCA	7 249	K.ミュンヒンガー指揮シュトゥットガルト室内o. / J.C.バッハ:2重Orchのための交響曲1, 3, 5番Op.18	¥1,650	S	A7
REG-4897	仏DECCA	7 240	Z.メータ指揮ロサンゼルスpo. K.レヘル(vc)J.フリンカ(va) / R.シュトラウス:ドン・キホーテOp.35	¥880	S	A7/6
REG-4898	仏DECCA	7 384	R.ボニング指揮ニュー・フィルハーモニアo. / コミック・オペラ序曲集/ マルコ・スバダ, ミニオン, アンゴラ夫人の娘, コルヌヴィルの鐘, ニュルンベルクの人形劇, 他	¥2,200	S	A7
REG-4899	仏IPG	7 155	B.リグット(pf)L.d.フロマン指揮ルクセンブルク放送o. / ショパン:Pf協奏曲2番Op.21, アンダンテ・スピアナートOp.22	¥2,200	QS	A7
REG-4900	欧PHILIPS	836 909 DSY	C.マッケラス指揮ロンドンso. A.マレイ(f) / 「パレエ組曲集」/ ラモー:カストルとポルクス, グルック:オルフェオとエウリディーチェ	¥2,750	S	A8/7
REG-4901	英PHILIPS	AL 3459	P.モントゥー指揮ロンドンso. / ドビュッシー:管弦楽のための映像, 聖セバスティアンの殉教~4曲	¥1,100	M	A7/6
REG-4902	仏TRIANON	2C 045- 10152	L.ラスキーン(hp)R.ブルダン(f)H.シエルヘン, A.ゴールドシュミット指揮シャンゼリゼ劇場o. / モーツァルト:Fl・Hp協奏曲K.299, アダージョとフーガK.546	¥1,650	M	A7
REG-4903	欧PHILIPS	6500 013	S.ビショップ・コヴァセヴィチ(pf) / バルトーク:ミクロコスモス第6巻, 野外にて, ソナチネ	¥1,650	S	A8/7
REG-4904	欧PHILIPS	L 00576 L	S.リヒテル(pf)K.コンドラシン指揮ロンドンso. / リスト:Pf協奏曲1番, 2番	¥1,100	M	A7
REG-4905	チェコSUPRAPHON	SUA 10466	A.ジェルトレル(vn)J.フェレンチク指揮ブルノpo. / バルトーク:Vn協奏曲1番, 2つの狂詩曲	¥1,320	M	A8/7
REG-4906	チェコSUPRAPHON	SUA 10466	A.ジェルトレル(vn)J.フェレンチク指揮ブルノ国立po. / バルトーク:Vn協奏曲1番, 2つの狂詩曲	¥1,320	M	A8/7

	Neumes Sonatine Mélodica Sonatine	REG-4889
	仏 CALLIOPE CAL 1816 フランス現代 Ob 作品集 / オアナ：ヌーム ミヨ：ソナチネ， ミハロヴィチ：メロベイヤ R. ダロー (ob) F. ボネ (pf)	
1100 円 (税込) GU A7		
未洗淨， アズキ / 白 GG, フタ付見開ツヤ, オリジナル, ステレオ, '73 年録音，		

	REG-4890t 蘭 DGG 429 232 1 ロドリゴ： アランフェス協奏曲， ある貴紳のための幻想曲， ヴィラ＝ロボス： Gt 協奏曲 G. セルシエル (gt) オルフェウス室内 o.	
	2200 円 (税込) DS A8/7	
未洗淨， 青 2 本線 GG, ツヤ, (P)1990(C)1988/90, '89 年 4 月米ニューヨークでの録音，独ジャケ入り，デジタル録音，初入荷，		

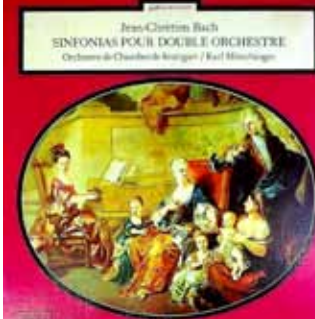
	REG-4891t 独 DGG 91 323 6 チャイコフスキー： Vn 協奏曲 Op.35, 憂鬱なセレナード Op.26 G. クレーメル (vn) L. マゼール指揮 ベルリン po.	
	880 円 (税込) DS A8/6	
未洗淨， 青 2 本線 GG, ツヤ, (P)(C)1980, '79 年 12 月独ベルリン・キリスト教会で録音，デジタル録音，2532 001 のクラブ盤，B 面 5h: 微か～極小で数回出る複数のスレ，8h: 極小～小で 11 回出る凸		

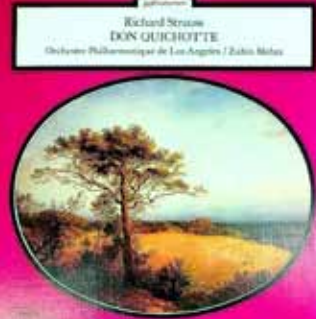
	REG-4892 独 CBS S 76707 ラヴェル： シェヘラザード ファリヤ： ファンファーレ 恋は魔術師 M. ホーン (ms) L. バーンスタイン指揮 フランス国立 o. / ニューヨーク po.	
	2200 円 (税込) S A8/7	
未洗淨， 茶マスターワークス，蘭見開ツヤ, (P)(C)1978, オリジナル，リッ付，ラヴェル：1975 年 3 回目録音，ファリヤ：1976 年録音，		

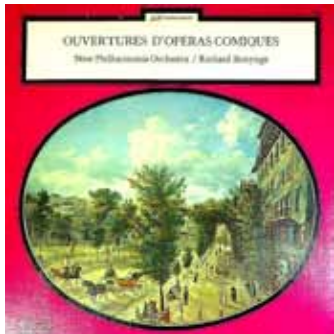
	REG-4893 仏 CBS 51086 リスト・リサイタル Vol.2/ Pf ソナタ 葬送 伝説 (2 曲) R. トウルアール (pf)	
	1100 円 (税込) M S7/6	
未洗淨， 緑 eye, コート, CLASSIQUES FAVORIS, A 面 8h に小 3+6 回 + 中 1 回出る小キズ，仏 ODEON:ODX 125+Pf ソナタ，Pf ソナタはこれが初出？，		

	REG-4894 仏 VALOIS MB 345 バッハ：Org 作品全集 Vol.5/ 前奏曲とフーガ～ B.538, 539, 541, 543, 546 M. シャピユイ (org)	
	1100 円 (税込) S A8/7	
未洗淨， 紫 / 銀 GG, コート, (P)1968, 再版 300 番台シリーズ，単売初，1968 年 3 月オランダ Zwolle 聖ミハエル教会アルプ・シュニットガー org, 1966-70 年全集 Vol.5,		

	REG-4895 仏 DECCA 591224 ハイドン： 交響曲 96 番「奇跡」 交響曲 101 番「時計」 G. ショルティ指揮 ロンドン po.	
	1100 円 (税込) DS A8/6	
未洗淨， 銀赤青 SC, 見開ツヤ, (P)(C)1981, 1981 年 3 月ロンドン・キングズウェイホールでの録音，仏オリジナル，デジタル録音，101 番の 10h: 小 10 回程度出るプレスミスあるがマスクングされて気にならないレベル，		

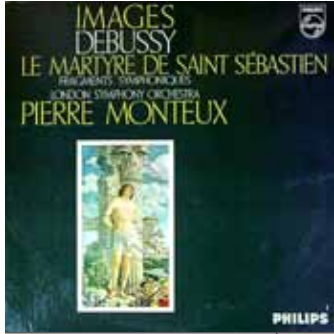
	REG-4896 仏 DECCA 7 249 J.C. バッハ： 交響曲 Op.18 ～ 1, 3, 5 番 K. ミュンヒンガー指揮 シュトゥットガルト室内 o.	
	1650 円 (税込) S A7	
未洗淨， 橙大デッカ，三方開厚紙, (P)1974, 英：SXL 6638 (小デッカ)，英国と同年発売，この時期の仏プレスは非常に音質良い，		

	REG-4897 仏 DECCA 7 240 R. シュトラウス： ドン・キホーテ Op.35 Z. メータ指揮 ロサンゼルス po. K. レヘル (vc) J. フリンカ (va)	
	880 円 (税込) S A7/6	
未洗淨， 橙大デッカ，三方開厚紙, (P)1974, 仏オリジナル，英：SXL 6634, B 面 12h: 極小 7+ 極小～微かに 22 回出る面スレ，英プレス殆ど入荷無い，		

			
REG-4898 仏 DECCA 7 384 コミック・オペラ序曲集 / マルコ・スパダ, ミニョン アンゴ夫人の娘 コルヌヴィルの鐘 ニュルンベルクの人形劇, 他 R. ポニング指揮 ニュー・フィルハーモニア o.			
2200 円 (税込)	S	A7	
未洗淨, 橙大デッカ, 見開厚紙, (P)1969, 英: SXL 6422, 仏オリジナル, 英プレスは5000 円以上する, ステレオ・オーディオ・ファイル,			

			
REG-4899 仏 IPG 7 155 ショパン: Pf 協奏曲 2 番 Op. 21 アンダンテ・スピアナート Op. 22 B. リグット (pf) L. d. フロマン指揮 ルクセンブルク放送 o.			
2200 円 (税込)	QS	A7	
未洗淨, ピンク白 GG, 見開厚紙, (P)1973, 仏のみ発売と思われる, 仏 DECCA からも同一番号・ジャケで出ている, ステレオ / クワドロフォニック,			

			
REG-4900 欧 PHILIPS 836 909 DSY バレエ組曲集 / ラモー: カストルとポルクス グルック: オルフエオとエウリディーチェ C. マッケラス指揮ロンドン so. A. マレイ (fl)			
2750 円 (税込)	S	A8/7	
未洗淨, 仏紺 / 白銀 4 本線カマボコ厚, 仏折返表コート, MAGIE DU SON シリーズ, 仏初出?			

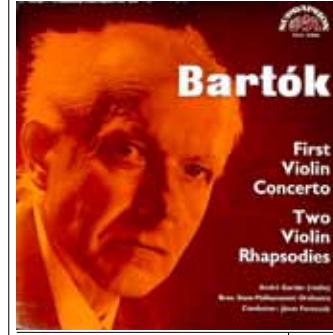
			
REG-4901 英 PHILIPS AL 3459 ドビュッシー: 管弦楽のための映像 聖セバスティアンの殉教 ~ 4 曲 P. モントウー指揮ロンドン so.			
1100 円 (税込)	M	A7/6	
未洗淨, アズキ / 銀内溝厚, 表コート, (P)1963, 1963 年ロンドン録音, ステレオ: SAL 3459/835 205 AY, モノラル非常に珍しい, A 面 3h 微かに 28+6+9+5 回出るシミ, 影響小さい,			

			
REG-4902 仏 TRIANON 2C 045-10152 モーツァルト: Fl・Hp 協奏曲 K. 299 アダージョとフーガ K. 546 L. ラスキーン (hp) R. ブルダン (fl) H. シェルヘン (指揮 / K. 299) A. ゴールドシュミット (指揮 / K. 546) シャンゼリゼ劇場 o.			
1650 円 (税込)	M	A7	
未洗淨, ピンク堅琴 GG, 折返表コート, パテプレス, 再版, デュクレタム・モノラル録音, 320C 006 (アイネ・クライネ k. 525 含む 3 曲), 無音軽スレ,			

			
REG-4903 欧 PHILIPS 6500 013 バルトーク: ミクロコスモス第 6 巻 野外にて ソナチネ S. B. コヴァセヴィチ (pf)			
1650 円 (税込)	S	A8/7	
未洗淨, 仏赤 / 白 4 本線, 仏三方開背布, (P)1970, オリジナル, B 面 12h: 音に出ない 7mm の軽スレ,			

			
REG-4904 欧 PHILIPS L 00576 L リスト: Pf 協奏曲 1 番 Pf 協奏曲 2 番 S. リヒテル (pf) K. コンドラシン指揮ロンドン so.			
1100 円 (税込)	M	A7	
未洗淨, 仏赤 / 白 TC カマボコ厚, 仏三方開背布張, 仏モノラル・オリジナル?, '61 年録音, ステレオ: 835 474 AY/LY, MELODIYA: D 013747/ SM 0867, ETERNA: 826 276,			

			
REG-4905 旧チェコ・スロバキア SUPRAPHON SUA 10466 バルトーク: Vn 協奏曲 1 番 2 つの狂詩曲 A. ジェルトレル (vn) J. フェレンチク指揮 ブルノ国立 po.			
1320 円 (税込)	M	A8/7	
未洗淨, 青 / 銀 SC, 見開中入コート, '60 代モノオリジナル, ステレオ: SUAST 50466, 1962 年 2 月録音,			

			
REG-4906 旧チェコ・スロバキア SUPRAPHON SUA 10466 バルトーク: Vn 協奏曲 1 番 2 つの狂詩曲 A. ジェルトレル (vn) J. フェレンチク指揮 ブルノ国立 po.			
1320 円 (税込)	M	A8/7	
未洗淨, 青 / 銀 SC GG, 見開中入コート, (C)1963, モノオリジナル, ステレオ: SUAST 50466, 1962 年 2 月録音,			

-重要-

発送に関するお知らせ

弊社が【無料配送】で提携しているエコ配につきまして、
10月より営業体制が変更され **土曜の集荷が廃止** となりました。

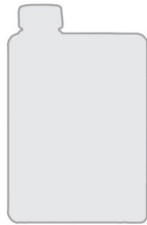
つきましては **金曜の午前11時以降** に
【無料配送】指定で頂戴した御注文につきましては
翌週の月曜以降の発送 とさせていただきます。

ご不便ご迷惑をお掛けいたしますが、
ご理解賜れますよう、何卒よろしくお願いいたします。

エテルナトレーディング有限公司 拝

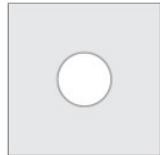
【 アクセサリー一覧 / 2026年6月改定】

メンテ用品



レコード 洗浄液&メンテナンス用品			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-008-001	レコード 洗浄液 1000ml	純水を主成分とした当社オリジナルのレコード 洗浄液 弊社のクリーニング済みレコード は全てこの液で洗浄	2200
acc-012-001	電解水レコード 洗浄液 30ml	弊社従来製品よりも 高い洗浄力を持つアルカリ 電解水仕様の洗浄液 有効成分を紫外線から守る遮光スプレーボトル入り	660
acc-012-003	電解水レコード 洗浄液 1000ml	弊社従来製品よりも 高い洗浄力を持つアルカリ 電解水仕様の洗浄液 有効成分を紫外線から守る遮光スプレーボトル付き	3300
acc-010-001	クリーニングクロス	当社推奨タツミ 社製クリーニングクロス(50枚入り)	900
acc-012-002	レコード 洗浄キット A	電解水レコード 洗浄液30ml とクリーニングクロスのセット	1400
acc-013	レコード 洗浄キット B	電解水レコード 洗浄液30ml とクリーナー&針用ブラシのセット	2000

ジャケット



白ジャケット(厚紙製) / ジャケット 欠品の際に利用する厚紙製の汎用ジャケット (h=100枚&10%割引)				
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-004-010 acc-004-010h	白ジャケット(厚紙製) 10インチ	紙製、白無垢の厚手ジャケット / 10インチ用	160	14400
acc-004-012 acc-004-012h	白ジャケット(厚紙製) 12インチ	紙製、白無垢の厚手ジャケット / 12インチ用	150	13500

特 価 品



【 新品レコード 内袋】			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-003-013	内袋10インチ(角型)	紙製&角型の内袋 / 10インチ用10枚セット ※廃盤商品(現品限り)	660(10枚セット)
【 中古レコード 外袋】			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格
acc-005-007b	外袋 7インチ(中古)	薄手ビニール製の外袋 / 7インチ用10枚セット ※中古特価品のため若干の汚れと使用感あり	50(10枚セット)
acc-006-012b	フタ 付き外袋 12インチ(中古)	薄手ビニール製のフタ 付き外袋 / 12インチ用50枚セット ※中古特価品のため若干の汚れと使用感あり	550(50枚セット)



外袋(極厚ビニール製) / 日本では通常手に入らない英国製の外袋(ジャケット 保護および鑑賞用)			
商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)
acc-007-001	外袋(厚手) 12インチ	3方向に補強が入った厚手ビニール素材の頑強な外袋(在庫限り) / 12インチ用	300

外 袋

外袋(薄手ビニール製) / ジャケット 保護に使用する一般的な外袋 (h=100枚&10%割引)

商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-005-007 acc-005-007h	外袋 7インチ	薄手ビニール製の外袋 / 7インチ用	20	1800
acc-005-010 acc-005-010h	外袋 10インチ	薄手ビニール製の外袋 / 10インチ用	50	4500
acc-005-012 acc-005-012h	外袋 12インチ	薄手ビニール製の外袋 / 12インチ用	40	3600
acc-005-013 acc-005-013h	外袋 13インチ	薄手ビニール製の外袋 / 5センチ厚くらいまでの箱モノ用	60	5400

フタ付き外袋(薄手ビニール製) / 上部にテープ付きのフタを設けた一般的な外袋 (h=100枚&10%割引)

商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-006-010 acc-006-010h	フタ付き外袋 10インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 10インチ用	40	3600
acc-006-012h	フタ付き外袋 12インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 12インチ用(※単売無し)		3600
acc-006-013 acc-006-013h	フタ付き外袋 13インチ	薄手ビニール製のフタ付き外袋 / 5センチ厚くらいまでの箱モノ用	50	4500

内 袋

内袋(プラスチック製) / 国内で一般的に使われる丸底型(NAGACKAタイプ)の内袋 (h=100枚&10%割引)

商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(10枚)	販売価格(100枚)
acc-001-007 acc-001-007h	内袋(丸底) 7インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 7インチ用(※単売無し)	180	1620
acc-001-010 acc-001-010h	内袋(丸底) 10インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 10インチ用(※単売無し)	240	2160
acc-001-012 acc-001-012h	内袋(丸底) 12インチ	国内で一般的に使われる丸底型の内袋 / 12インチ用(※単売無し)	130	1170

内袋(紙製) / ジャケットに収納しやすい角丸型(R 付き)の内袋 (h=100枚&10%割引)

商品コード	商品名	商品説明(詳細)	販売価格(1枚)	販売価格(100枚)
acc-003-010 acc-003-010h	内袋(紙製) 10インチ	紙製&角丸(R付き)型の内袋 / 10インチ用	80	7200
acc-003-012 acc-003-012h	内袋(紙製) 12インチ	紙製&角丸(R付き)型の内袋 / 12インチ用	80	7200

※入荷状況によって、お取り寄せ対応になる場合がございます。

*** 通常の通販における規定となります。バーゲン期間および他の経路でのご注文に際しては別途規定を設けております。***

ご注文の前に

商品によっては 50 年以上の歳月を経過しています。程度の差こそあれパチパチ音、反り、微細なキズ等はあるものとお考え下さい。
 一部の特価品を除いて盤面のクリーニングを施しておりますが、ご購入後も継続的なメンテナンスが必要な場合もございます。
 アナログ盤の特性をご理解の上、お買い上げを前提としてご注文いただくようお願い致します。

お支払い

登録会員様におきましては、後払いでの決済が可能です。返品等への対応を含め、お客様を信頼しての配慮となります。
 商品到着後、8 日以内にお支払いをお願い致します。（納品書が複数の場合、合計金額をまとめてお支払いください）

- 郵便振替 金額を記載した振替用紙を同梱いたします。氏名と住所を御記入の上、郵便局でお支払いください。
- ゆうちょ銀行 〇一九店（ゼロイチキュー店） 当座 0720691 エテルナトレーディング（ユ （振込手数料：お客様負担）
- 三菱UFJ 銀行 調布支店 （普）1410199 エテルナトレーディング（ユ （振込手数料：お客様負担）
- 代引き 商品到着時に配達員にお支払い頂きます。ご注文時にお申し付けください。 （代引手数料：税込 400 円）
- カード払い WEB サイトからの購入、または店頭でのみご利用可能です。

返品

直接確認できない通販の特性上、返品を承ります。ただし、ジャケット裏の弊社シリアル番号シールが確認出来る商品のみとなります。
 返品の際は電話またはメールで弊社までご連絡の上、商品到着後 8 日以内に返送いただくようお願い致します。
 返送料は原則としてお客様負担となります。事前連絡無しの着払いとは堅くお断り致します。

送料

お買い上げ金額合計、税込 3,300 円以上で送料無料。（弊社指定業者のみ。お客さまが配送業者を指定される場合は別途手数料がかかります。）
 税込 3300 円未満の場合は送料として税込 550 円がかかります。
 代引き支払い、または日時指定ご希望の場合は税込 400 円の手数料を申し受けます。
 代引き支払いと日時指定を併用した場合でも、手数料は税込 400 円となります。
 大型商品や大量注文等で梱包が例外的に大きい場合、当規定とは別に実費を頂戴する場合がございます。（※事前にご連絡いたします）

発送

バーゲン期間などの特殊な場合を除き、ご注文から『3 営業日以内』に発送します。
 店頭受け取りの場合は、御注文から 2 週間以内にお越しく下さい。期限を過ぎた場合、発送対応に変更させていただく場合がございます。
 お取り置き（追加注文が有る場合）は一ヶ月間までお受けいたします。一ヶ月を過ぎましたら、郵便振替用紙を同封にて発送いたします。